

年間指導計画

科目名	現代の国語	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	1 回
使用教科書	東京書籍「新編現代の国語」(現国701)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・ 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	「こそそめスープ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 ・ 筆者の主張の要旨を捉えることを通して、自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝える力を養う。
No2 提出期限 7/31	「未来をつくる想像力」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報や想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 ・ さまざまなメディアの特長を知り、受信者としても送信者としても適切な判断のもと、使い分ける。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張の要旨を捉えることを通して、自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝える力を養う。
<p>No3 提出期限 9/30</p>	<p>「水の東西」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・要旨をまとめ、文章の要点を把握する。 ・語句や語彙を学ぶことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 ・筆者の主張の要旨を捉えることを通して、自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝える力を養う。
<p>No4 提出期限 10/31</p>	<p>「鍋洗いの日々」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・要旨をまとめ、文章の要点を把握する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・語句や語彙を学ぶことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 ・筆者の主張の要旨を捉えることを通して、自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝える力を養う。
<p>No5 提出期限 11/30</p>	<p>「美しさの発見」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・語句や語彙を学ぶことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて

		<p>て叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張の要旨を捉えることを通して、自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝える力を養う。
<p>No6 提出期限 12/31</p>	<p>「真の自立とは」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・語句や語彙を学ぶことを通して語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できるようにする。 ・筆者の主張の要旨を捉えることを通して、自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝える力を養う。

年間指導計画

科目名	言語文化	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	1回
使用教科書	東京書籍「新編言語文化」(言文701)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	「さくらさくらさくら」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・現代の言語文化に息づいている古典の常識について知識を深める。 ・主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・短歌の内容と詠まれた心情を理解する。 ・桜に対する日本独特の感性について理解を深める。 ・本文に登場する言葉の意味を理解する。

<p>No2 提出期限 7/31</p>	<p>「羅生門」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・ 本文に登場する言葉の意味を理解する。 ・ 芥川龍之介の作品について知ることで近代文学への理解を深める。 ・ 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用できるようにする。 ・ 老婆の主張や下人が行きついた考えから、自分のものの見方、考え方を深める。 ・ 情景描写や比喻表現、語り手の役割やその効果などを理解する。
<p>No3 提出期限 9/30</p>	<p>「古文に親しむ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取り上げられた古文の代表作品について知識を深めるとともに、構成や内容、後世に与えた影響等について考察する。 ・ 各作品の冒頭部分の内容を理解する。 ・ 主要な歴史的仮名遣いについて理解し、正確に現代仮名遣いに直せるようにする。
	<p>「児のそら寝」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な歴史的仮名遣いについて理解し、正確に現代仮名遣いに直せるようにする。 ・ 古文重要語句の意味や用法について理解する。 ・ 児の気持ちの変化を順を追って整理することで、話の面白さを理解する。
<p>No4 提出期限 10/31</p>	<p>「夢十夜」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。 ・ 夏目漱石の作品について知ることで近代文学への理解を深める。 ・ 小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用できるようにする。 ・ 本文に登場する言葉の意味を理解する。 ・ 「第一夜」を読んで、「女」の状況や「女」に対する自分の心情、「百合」が意味するものについて理解する。
<p>No5 提出期限 11/30</p>	<p>「徒然草」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中の古文重要語句や意味用法を理解する。 ・ 本文中の助動詞の意味や助詞の用法など

		<p>の文法事項を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文全体の構成、話の内容をつかみ、根拠とともに説明できるようにする。 ・作者の考えから、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。
<p>No6 提出期限 12/31</p>	<p>「訓読の基本」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的な構造について理解する。 ・送り仮名のつけかた及び返り点のつけ方について理解する。 ・白文・訓点・訓読・書き下し文についての知識を身につける。 ・漢文の基本的な構造になれた的確な訓点を施すことができるようになる。 ・再読文字の用法を理解する。
	<p>「論語」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「論語」が成立した時代背景や孔子について理解する。 ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解する。 ・文法事項を踏まえた上で文脈や背景に沿った適切な現代語訳ができるようになる。 ・孔子や弟子の人生観について考え、それについて自分の考えを持てるようになる。

年間指導計画

科目名	文学国語	単位数	4
添削指導枚数	12	面接(スクーリング授業)指導回数	4(視聴覚課題を用いての算出)
使用教科書	東京書籍「文学国語」高等学校国語科用 文部科学省検定済教科書 2 東書 文国 701		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
- ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	「光の窓」小池昌代 随筆	・言葉と感覚との関係について、筆者の捉え方を理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って考えをまとめる。
	「雨月物語」木内昇 随筆	・進んで『雨月物語』が筆者に与えた影響を読み取り、今までの学習を生かして「物語」についての自分の考えをまとめる。
No2 提出期限 6/30	「山月記」中島敦 小説・文学史	・登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考える。
No3 提出期限 6/30	「言葉を生きる」若松英輔 評論	・筆者の考えをその表現から読み取り、学習課題に沿って「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。
	「詩と感情生活」鮎川信夫 評論	・進んで詩についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って詩の特質について考えを深める。
No4 提出期限 7/31	「山椒魚」井伏鱒二 小説・文学史	・登場人物の心情を把握し、学習課題に沿って作品に込められた寓意について、自分自身の生き方や考え方に触れながら文章にまとめる。
No5 提出期限	「永訣の朝」宮沢賢治 詩歌	・作品に表現された内容を把握し、学習課題に沿って作品の主題と、それを支える優れた表現

7/31		を見つける。
	「硝子の駒—短歌抄」島木赤彦 与謝野晶子 長塚節 河野裕子 詩歌	進んで短歌独自の特徴と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめる。
No6 提出期限 9/30	「こころ」夏目漱石 小説・文学私学史	登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のありようについて考えを深め、自分の考えを深める。
No7 提出期限 10/31	「国語から旅立って」温又柔 随筆	筆者の多言語体験に基づいた考えを読み取り、学習課題に沿って言葉と自分との関係について考えを深める。
	「書かれた風景の中で」リービ英雄 随筆	・筆者の読書体験を読み取り、学習課題に沿って二つの随筆を比べ、日本語の特色について考えを深める。
No8 提出期限 10/31	「コンビニの母」森絵都 小説	登場人物の言動や心理を表現に即して読み取り、学習課題に沿ってさまざまな立場から現代社会における人間関係について考えをまとめる。
	「小諸なる古城のほとり」島崎藤村 詩歌	文語の響きや五七調のリズムに親しみ、学習課題に沿って詩に描かれた情景や作者の心情を読み取る。
No9 提出期限 11/30	「クレールという女」須賀敦子 随筆	筆者の読書体験を読み取り、学習課題に沿って人間の生き方について、自分の考えをまとめる。
	「映画の可能性のために」諏訪敦彦 評論	「バルザック」と「カミュ」の視点の違いを理解し、学習課題に沿って選んだ作品がどちらの視点であるか考えをまとめる。
No10 提出期限 11/30	「舞姫」森鷗外 小説・文学史	主人公の考え方や行動について、時代背景を踏まえながら読み取り、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。
No11 提出期限 12/31	「演技する『私』」安藤宏 評論	粘り強く筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめる。
No12 提出期限 1/31	「葉桜と魔笛」太宰治 小説	物語の展開を把握し、登場人物の心情を読み取り、学習課題に沿ってこの作品における時間の流れの役割について考えをまとめる。
	「蠅」横光利一 小説	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、視点の移動に注意しながら描かれた場面や状況を読み取り、学習課題に沿って作品の主題について複数の観点から考えをまとめる。

年間指導計画

科目名	古典探究	単位数	4
添削指導枚数	12	面接(スクリーン グ授業)指導回数	4(視聴覚課題を 用いての算出)
使用教科書	東京書籍「新編古典探究」高等学校国語科用		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、 並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	十訓抄「大江山の歌」	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の動きや心理、内容の面白さを読み取る。 「大江山」の歌に用いられている修辞を把握する。
	竹取物語「なよたけのかぐや姫」	<ul style="list-style-type: none"> 物語の内容を叙述に即して読み取り、そこに表れた人々の思いを捉える。
No2 提出期限 6/30	徒然草「九月二十日のころ」	<ul style="list-style-type: none"> 主語に注意しながら、話のあらすじを読み取る。 作者の「その人」に対する評価をまとめる。
	徒然草「花は盛りに」	<ul style="list-style-type: none"> 話題とする物事を、段落ごとに自然と人事に分けて整理する。 作者が推賞する花や月の美について理解するとともに、恋のあり方についても読み取る。
No3 提出期限 6/30	土佐日記「馬のはなむけ」	<ul style="list-style-type: none"> 当時の月日や時刻の呼び方について知る。 冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。

No4 提出期限 7/31	更級日記「門出」	・作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。
No5 提出期限 7/31	『小倉百人一首』より	・和歌を多面的、多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深める。
	近世俳句抄	・発句に詠み込まれた情景や心情を捉え、言語文化についての理解を深める。
No6 提出期限 9/30	「静夜思」	・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。
	「登岳陽桜」	・唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。
No7 提出期限 10/31	枕草子「中納言参り給ひて」	・随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。
No8 提出期限 10/31	伊勢物語「東下り」	・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。
No9 提出期限 11/30	「断腸」	・漢文の読み方を確認し、興味を持った内容を調べることで理解を深める。 ・桓公が「猿ノ子」を得た者を罷免した理由を考える。
	「雑説」	・語句の意味や修辞に注意して内容を読み取り、ものの見方や感じ方を広げる。 ・作者は「伯樂」と「千里馬（名馬）」の比喻によって何を主張しようとしたのかを考える。
No10 提出期限 12/31	源氏物語「光源氏の誕生」	・他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。
No11 提出期限 12/31	「古事記」倭建命	・上代の文章の特色を踏まえながら内容を的確に捉え、言語文化についての理解を広げる。
No12 提出期限 1/31	「信玄と謙信」	・日本人の漢文叙述による歴史上の逸話を通して、名将二人の魅力に触れる。

年間指導計画

科目名	論理国語	単位数	4
添削指導枚数	12	面接指導回数	4
使用教科書	東京書籍「新編論理国語」(論国 701)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 実生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ・ 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	対話とは何か	「他者存在としての相手の領域に大きく踏み込む行為」とは、どのような行為かを読み取り、まとめることで、対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。
No2 提出期限 6/30	「ふしぎ」ということ	二人の偉人についてどのような人物で何を成し遂げたのかを読み取り、「自然科学」の方法と「神話」の違いについて理解することで、挙げられている話題を関連づけて読み取る力を付け、「ふしぎ」ということについて考えを深める。
No3 提出期限 6/30	学ぶことと人間の知恵	文のつながりに着目して主張を読み取り、「人間」と「コンピューター」の違いを理解することで、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。
No4 提出期限 7/31	思考の肺活量	比喩表現に注意して内容を読み取り、指示語の指す内容や同じ内容を言い換えた部分を正しく理解することで、思考のあるべき姿について理解を深める。
No5 提出期限 7/31	複数の「わたし」	「複数の役割」、「近代の個人主義的な人間観」、「分割可能な複合的な人格」とはどのようなものなのかを理解し、判断することで、「わたし」の捉え方について理解を深める。
No6 提出期限 9/30	はじめに「言葉」がある	筆者独自の表現や感性を理解し、それが何を指しているか判断することで、筆者の仕事の経験を読み取り、その経験を手がかりとして、働くことと言葉の関わりについて考える。
No7 提出期限	豊かさとは生物多様性	「生態系を破壊」するとは何を破壊することを意味しているのかを理解し、論の展開に注意して、筆者の考えを読み

10/31		取ることで、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。
No8 提出期限 10/31	カフェの開店準備	同じ内容を言い換えた部分や、筆者独自の表現や感性を理解することで、日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりに自分の日常を見つめ直す。
No9 提出期限 11/30	ロボットが隣人になるとき	哲学的な思考に沿って書かれた評論を、筆者が投げかけている問いの意味や、言葉の意味を正しく理解し、読むことで、人間の意志や自由について理解を深める。
No10 提出期限 11/30	言葉は「ものの名前」ではない	言語と認識の関係について具体例をもとに主張している評論を、言葉の意味を正しく理解した上で、本文中での使われ方がどれか判断し、同じ内容を言い換えた部分がどこかを正しく理解しながら読むことで、言葉の働きについて考える。
No11 提出期限 12/31	もう一つの知性	筆者独自の表現が何を指しているか理解し、判断することで、科学的思考とは異なる思考の在り方を知り、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。
No12 提出期限 1/31	ホンモノのおカネの作り方	二つの例の対比に注意して論旨をたどり、佐土原藩が作ったニセガネが与えた影響や、「偽金」と「似せガネ」の違い、「ホンモノの形而上学」とは何かを理解し、判断することで、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。

年間指導計画

科目名	漢字検定初級	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	1 回
使用教科書	なし		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、必要な日本語や漢字の知識を身に付ける。
- ・語彙力を高め、文章表現力を高める力を養う。
- ・日本漢字能力検定 5 級から 4 級程度の漢字力を身に付け、検定取得を目指すために自ら学ぶ態度と自身を育む。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No. 1 提出期限 6/30	漢字検定 5 級・4 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 2 提出期限 7/31	漢字検定 5 級・4 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 3 提出期限 9/30	漢字検定 5 級・4 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 4 提出期限 10/31	漢字検定 5 級・4 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正 	
No. 5 提出期限 11/30	漢字検定 5 級・4 級 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 6 提出期限 1/31	漢字検定 5 級・4 級 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。

年間指導計画

科目名	漢字検定中級	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	1 回
使用教科書	なし		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、必要な日本語や漢字の知識を身に付ける。
- ・語彙力を高め、文章表現力を高める力を養う。
- ・日本漢字能力検定3級程度の漢字力を身に付け、検定取得を目指すために自ら学ぶ態度と自身を育む。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No. 1 提出期限 6/30	漢字検定 3 級 ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正	・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 2 提出期限 7/31	漢字検定 3 級 ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正	・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 3 提出期限 9/30	漢字検定 3 級 ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正	・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 4 提出期限 10/31	漢字検定 3 級 ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語	・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・四字熟語 ・誤字訂正 	
No. 5 提出期限 11/30	漢字検定 3 級 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 6 提出期限 1/31	漢字検定 3 級 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。

年間指導計画

科目名	漢字検定上級	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	1 回
使用教科書	なし		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、必要な日本語や漢字の知識を身に付ける。
- ・語彙力を高め、文章表現力を高める力を養う。
- ・日本漢字能力検定準 2 級から 2 級程度の漢字力を身に付け、検定取得を目指すために自ら学ぶ態度と自身を育む。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No. 1 提出期限 6/30	漢字検定準 2 級・2 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 2 提出期限 7/31	漢字検定準 2 級・2 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 3 提出期限 9/30	漢字検定準 2 級・2 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、 ・対義語・類義語 ・四字熟語 ・誤字訂正	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 4 提出期限 10/31	漢字検定準 2 級・2 級 ・漢字の読み ・漢字の書き取り ・熟語の構成、	・日常生活における漢字力を高める。 ・一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正 	
No. 5 提出期限 11/30	漢字検定準2級・2級 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。
No. 6 提出期限 1/31	漢字検定準2級・2級 <ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字の読み ・ 漢字の書き取り ・ 熟語の構成、 ・ 対義語・類義語 ・ 四字熟語 ・ 誤字訂正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活における漢字力を高める。 ・ 一般的な学力と語彙力を高めるきっかけにし、理解する。

年間指導計画

科目名	地理総合	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	1回
使用教科書	東京書籍「地理総合」(地総701)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。 ・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	
	第1章 私が暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな地図の特徴と表現できる情報について学ぶ。 ○地図と実際の地球の姿の異なる点を踏まえて情報をとらえるための知識を身につける。 ○領土、領域について理解し、実際の社会的な事象と結び付けて考える。 ○日常生活の中で地図を活用し、地理学習の内容を深めるための基礎的な知識を学ぶ。 ○利用が促進されるデジタル地図を主体的に利用するための基礎的な知識を学び、実際に利用する。
No2 提出期限 7/31	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	
	第3章 資料から読み取る現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ○交通機関や情報通信網の発達とそれにとまなう社会の変化を学ぶ。 ○世界の多様な文化について学び、文化・民族とは何かを理解する。
	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ○結びつく現代世界における、国家群や課題について学習する。 ○世界の貿易の変化や、日本のこれまでの動向とこれからの課題について学ぶ。
No3 提出期限 9/30	第2編 国際理解と国際協力	
	第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候	<ul style="list-style-type: none"> ○世界の大地形について、プレートの動きとあわせて学習する。 ○外的影響が地形にどのような影響を与えているかを学習する。 ○多様な地形や気候について、巻末2, 3の実験を参照して理解を深める。 ○地形や気候が人々の暮らしに与える影響について理解する。
No4 提出期限	第2編 国際理解と国際協力	

11/30	<p>第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 4節 生活文化と産業</p> <p>第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題</p>	<p>○食生活や農業の地理的分布について学習する。</p> <p>○先進国、新興国、発展途上国の工業の特色や工業立地について学習する。</p> <p>○情報化が産業にもたらした変化を学習する。</p> <p>○中国、韓国、トルコ、ロシア、アメリカ合衆国、ラテンアメリカの地誌について、章の内容と関連するトピックから学習する。</p> <p>○地球の環境問題や資源・エネルギー問題について、これまで学習した地理的な事象を踏まえて理解する。</p>
No5 提出期限 12/31	<p>第2編 国際理解と国際協力</p> <p>第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして</p>	<p>○人口問題と居住・都市問題、食料問題について、先進国と発展途上国の抱える異なる事情・課題を理解する。</p> <p>○地球的な諸課題が互いに複雑に関連し合っていることを理解する。</p> <p>○各地で発生する民族問題・紛争について学習する。</p> <p>○持続可能な社会の実現について、身近な課題から主体的に考える。</p>
No6 提出期限 1/31	<p>第3編 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>○日本の地形の特徴について学ぶ。</p> <p>○日本の気候の特徴について学ぶ。</p> <p>○自然災害について、日本の地形や気候と関連づけて理解し、防災・減災のために身近な生活の中でできることを把握する。</p> <p>○地域調査を行うための手法を身につける。</p>

年間指導計画

科目名	歴史総合	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	1回
使用教科書	明成社 「歴史総合」 (歴総712)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	第1編 近代化と私たち	
	第1章 結びつく世界と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・「近代化への問い」では、中学校までの学習を踏まえ、諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会の在り方が近代化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する学習を行う。 ・「結びつく世界と日本の開国」では、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジアの経済と社会、工業化と世界市場の形成を理解できるようにする。
No2 提出期限 7/31	第1編 近代化と私たち	
	第2章 国民国家と明治維新	<ul style="list-style-type: none"> ・「国民国家と明治維新」では、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、立憲体制と国民国家の形成、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できるようにする。

		<p>・「近代化と現代的な諸課題」では、現代的な諸課題につながる歴史的な観点から主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解できるようにする。</p>
No3 提出期限 9/30	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	
	第3章 第一次世界大戦と大衆社会の出現	<p>・「国際秩序の変化や大衆化への問い」では、中学校までの学習を踏まえ、諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、国際秩序の変化や、人々の生活や社会の在り方が大衆化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する学習を行う。</p> <p>・「第一次世界大戦と大衆社会」では、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解できるようにする。</p>
No4 提出期限 11/30	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち	
	第4章 経済危機と第二次世界大戦	<p>・「経済危機と第二次世界大戦」では、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できるようにする。</p> <p>・「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」では、現代的な諸課題につながる歴史的な観点から主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解できるようにする。</p>
No5 提出期限 12/31	第3編 グローバル化と私たち	
	第5章 冷戦と世界経済	<p>・「グローバル化への問い」では、中学校までの学習を踏まえ、諸資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、人々の生活や社会の在り方がグローバ</p>

		<p>ル化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する学習を行う。</p> <p>・「冷戦と世界経済」では、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、国際政治の変容、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解できるようにする。</p>
<p>No6 提出期限 1/31</p>	<p>第3編 グローバル化と私たち</p>	
	<p>第6章 世界秩序の変容と日本</p>	<p>・「世界秩序の変容と日本」では、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済の変容と課題、冷戦終結後の国際政治の変容と課題とを理解できるようにする。</p> <p>・「現代的な諸課題の形成と展望」では、持続可能な社会の実現を視野に入れ、現代的な諸課題につながる歴史的な観点から主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想して探究し、現代的な諸課題を理解できるようにする。</p>

年間指導計画

科目名	歴史総合	単位数	4単位
添削指導枚数	9枚	面接指導回数	3回
使用教科書	山川出版 「詳説日本史」 (日探 705)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> ①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく ③大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 ④集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。 ⑤原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。
	第2章 古墳とヤマト政権	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。

		<p>③古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。</p> <p>④ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。</p> <p>⑤飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。</p>
<p>No2 提出期限 6/30</p>	<p>第3章 律令国家の形成</p>	<p>①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。</p> <p>②律令にもとづく国内統治体制について理解する。</p> <p>③律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。</p> <p>④平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。</p> <p>⑤律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。</p> <p>⑥天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。</p> <p>⑦平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。</p> <p>⑧東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。</p>
	<p>第4章 貴族政治の展開</p>	<p>①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。</p> <p>②日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。</p> <p>③大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。</p> <p>④摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。</p> <p>⑤律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。</p> <p>⑥地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。</p>
<p>No3 提出期限 6/30</p>	<p>第5章 院政と武士の躍進</p>	<p>①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。</p> <p>②外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。</p> <p>③政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。</p>

		④古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。
	第6章 武家政権の成立	<p>①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。</p> <p>②鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。</p> <p>③承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。</p> <p>④武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。</p> <p>⑤モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。</p> <p>⑥非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。</p> <p>⑦庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。</p> <p>⑧伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を考察する。</p>
No4 提出期限 7/31	第7章 武家社会の成長	<p>①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。</p> <p>②琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。</p> <p>③庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。</p> <p>④諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。</p> <p>⑤武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。</p> <p>⑥庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。</p> <p>⑦応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。</p>
	第8章 近世の幕開け	<p>①大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。</p> <p>②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。</p>

		<p>③新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。</p> <p>④中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。</p>
<p>No5 提出期限 9/30</p>	<p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p>	<p>①江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。</p> <p>②江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。</p> <p>③幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。</p> <p>④被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。</p> <p>⑤17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。</p> <p>⑥諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。</p> <p>⑦幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。</p> <p>⑧全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。</p> <p>⑨経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。</p> <p>⑩儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。</p>
<p>No6 提出期限 10/31</p>	<p>第10章 幕藩体制の動揺</p>	<p>①農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。</p> <p>②幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。</p> <p>③江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容にともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。</p> <p>④幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。</p> <p>⑤欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。</p>

		<p>⑥近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。</p> <p>⑦化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。</p> <p>⑧都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。</p>
	第11章 近世から近代へ	<p>①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。</p> <p>②江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。</p> <p>③幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。</p> <p>④近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。</p>
No7 提出期限 11/30	第12章 近代国家の成立	<p>①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。</p> <p>②欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。</p> <p>③明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。</p> <p>④政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。</p> <p>⑤大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。</p>
	第13章 近代国家の展開	<p>①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。</p> <p>②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。</p> <p>③第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。</p> <p>④第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。</p>

		<p>⑤ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。</p> <p>⑥民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。</p>
No8 提出期限 12/31	第14章 近代の産業と生活	<p>①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。</p> <p>②近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。</p> <p>③伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。</p> <p>④義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。</p> <p>⑤労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。</p> <p>⑥大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。</p>
	第15章 恐慌と第二次世界大戦	<p>①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。</p> <p>②社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。</p> <p>③日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</p> <p>④恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。</p> <p>⑤日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。</p> <p>⑥第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。</p>
No9 提出期限 1/31	第16章 占領下の日本	<p>①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。</p>

		<p>②戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。</p> <p>③東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。</p> <p>④連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。</p>
	<p>第17章 高度成長の時代</p>	<p>①冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。</p> <p>②朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。</p> <p>③消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。</p>
	<p>第18章 激動する世界と日本</p>	<p>①ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。</p> <p>②高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。</p> <p>③冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。</p> <p>④科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。</p>

年間指導計画

科目名	世界史探究	単位数	3単位
添削指導枚数	9枚	面接指導回数	2回
使用教科書	山川出版社 詳説 世界史探究		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	第 I 部 諸地域の歴史的特質の形成 第 1 章 文明の成立と古代文明の特質 第 2 章 中央ユーラシアと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 ・おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。 ・オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ・都市国家に富や権力が集まった理由を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。 ・エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・シリア・パレスチナ地方で多くの民族が

興亡を繰り返した背景を理解する。

- ・クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。
- ・アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を、多面的・多角的に考察し表現する。
- ・南アジアの多様性を生み出した地理的環境について理解する。
- ・南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を理解する。
- ・アーリア人の進入が南アジアにもたらした変化について、多面的・多角的に考察し表現する。
- ・東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察し表現する。
- ・殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。
- ・春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。
- ・戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。
- ・北米と中南米の先住民社会を比較し、共通点と相違点を理解する。
- ・中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を多面的・多角的に考察し表現する。
- ・中央ユーラシアの人々が営んでいた生活と風土との関係を理解する。
- ・騎馬遊牧民が強大な国家を築くことができた理由を、多面的・多角的に考察し表現している。
- ・遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解する。
- ・オアシス民と遊牧民の関係を多面的・多角的に考察し表現する。
- ・新たに現れた「皇帝」の特徴について、それまでの「王」と比較しながら理解する。
- ・漢の支配体制の変遷を理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱との関係について理解する。 ・魏晋南北朝時代に仏教や道教が力をもつようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・魏晋南北朝時代の中国の情勢が、朝鮮や日本に与えた影響について理解する。 ・唐の勢力圏の広がりを理解する。 ・唐代初期の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・唐の制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。 ・安史の乱前後の唐の制度や社会の変化を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・突厥・ウイグルと隋・唐の関係を理解する。 ・ソグド人の中央ユーラシアや東アジアにおける役割について理解する。
<p>No2 提出期限 6/30</p>	<p>第 I 部 諸地域の歴史的特質の形成 第 3 章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第 4 章 西アジアと地中海周辺の世界形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仏教やジャイナ教などの新たな宗教に共通する点について理解する。 ・南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとの、仏教の発展について理解する。 ・クシャーナ朝と周辺諸関係との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・「海の道」の交易における南インドの役割を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 ・8～10 世紀の諸勢力が割拠した時代における、各地の政権の政策を理解する。 ・ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・東南アジアの風土について、ほかのアジアや日本と比較したうえで理解する。 ・東南アジアと南アジア・中国との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。

		<ul style="list-style-type: none">・ 東南アジアにおける国家形成の特徴を、多面的・多角的に考察し表現する。・ アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築くことができた背景や要因を理解している。・ パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解する。・ パルティアとササン朝が東西の文明のあいだで担った役割を、多面的・多角的に考察し表現する。・ ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで表現する。・ スパルタが軍国主義をしいた理由を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。・ ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を、多面的・多角的に考察し表現する。・ ヘレニズム時代の歴史的意義を、多面的・多角的に考察し表現する。・ ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。・ ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。・ 地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。・ ローマの内乱の発生から終息までの経緯を理解する。・ 「ローマの平和」が地中海世界に与えた影響を理解する。・ ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。・ ローマ帝国の文化的意義を多面的・多角的に考察し表現する。・ キリスト教の成立の経緯を理解している。・ ローマ帝国によるキリスト教への対応
--	--	--

		を、多面的・多角的に考察し表現する。
No3 提出期限 6/30	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ・ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。 ・アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 ・イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を理解する。 ・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。 ・ビザンツ帝国の繁栄について、同時期の西ヨーロッパと比較したうえで理解する。 ・ローマ教会とフランク王国の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ・カールの戴冠が世界の歴史においてもつ意義について理解する。 ・ノルマン人が西ヨーロッパ世界において果たした歴史的役割について理解する。 ・西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて理解する。 ・13世紀におこなわれていた交易に関する資料から、情報を読み取ったりまとめたりする。 ・13世紀において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について考察する。 ・イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ・南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ・東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察し表現している。 ・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。 ・トルコ人の進出が西アジアにもたらした

		<p>変化について考察し表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。 ・マムルーク朝のもとでのカイロの繁栄が、どのように実現したのか理解している。 ・イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解している。
No4 提出期限 7/31	<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編</p> <p>第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の西ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的な権威をもつにいたった背景を理解する。 ・十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・西ヨーロッパで商業が盛んになった理由を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・中世の都市が獲得した政治的地位や、そこでの人々の暮らしについて理解する。 ・ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ビザンツ文化が果たした世界史的な意義について理解する。 ・スラヴ人が各地域で自立していった経緯を理解する。 ・封建社会が解体に向かった背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。 ・各国における、身分制議会の成立と王権の伸張の関係を理解する。 ・百年戦争によるイギリスとフランスの変容を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・スペインで国王による中央集権化がいち早く進んだのはなぜか理解する。 ・神聖ローマ帝国で中央集権化が進まなかった要因を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を理解する。 ・西ヨーロッパにおける大学の成立過程を

		<p>理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世の西ヨーロッパの美術や文学と、その時代の社会との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ・10世紀前半における東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ・宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・宋における社会や経済の発展の様子を理解する。 ・宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ・モンゴル帝国時代の東西交流の新しさを、多面的・多角的に考察し表現する。 ・モンゴル帝国解体の要因を理解する。 ・ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを、多面的・多角的に考察し表現する。
<p>No5 提出期限 9/30</p>	<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編</p> <p>第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ・明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。 ・明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。 ・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していた動機や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもた

		<p>らした影響や変化を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。・16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を、多面的・多角的に考察し表現する。・オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。・オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。・拡大後のオスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。・ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。・ムガル帝国におけるヒन्दゥー教徒とイスラーム教徒の関係を、多面的・多角的に考察し表現する。・ムガル帝国の衰退の背景や要因を、多面的・多角的に考察し表現する。・清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。・清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。・漢人の社会や文化に対して、清朝がどのような態度をとったのかを理解する。・ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。・ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。・多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。・それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを、多面的・多角的に考察し表現する。・カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教
--	--	---

		<p>会の成立の意義を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カトリック改革がもつ世界史的な意義を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ・16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ・アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。 ・17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・17世紀における2つのイギリスにおける革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 ・近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。 ・イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。 ・主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。 ・ロシアが主権国家体制に参入していった経緯を理解する。 ・プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。 ・啓蒙専制主義の特徴を理解する。 ・科学革命の成果について、自然法則の発見以外にも着目して理解する。 ・科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・従来の学知の展開と比較したうえで、「実用の学」としての啓蒙思想の意義を理解する。 ・メディアの発達に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする。 ・メディアが人々の生活や社会におよぼした影響を考察する。
<p>No6 提出期限 10/31</p>	<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13部 イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与

		<p>えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <ul style="list-style-type: none">・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。・独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。・アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。・革命中のフランス国家体制の変遷や、革命が諸外国に与えた影響を理解する。・人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。・ナポレオンの支配に対する人々の反応を、多面的・多角的に考察し表現する。・ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命のほかの事例と比較したうえで理解する。・中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。・中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。・ウィーン会議の参加者たちが、どのような国際秩序をめざしていたかを理解する。・ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。・19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。・イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想を、それぞれ比較したうえで理解する。・1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。・クリミア戦争における、ロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 19 世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ・ ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ・ ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を、多面的・多角的に考察し表現している。 ・ 北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 19 世紀後半にさまざまな国際運動が進展した背景を理解する。 ・ 領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ・ アメリカ合衆国の歴史において移民がもつ意味を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 19 世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解する。 ・ 国民文化と国民国家形成との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。 ・ 大都市文化が都市の景観に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。
<p>No7 提出期限 11/30</p>	<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容</p> <p>第 14 章 アジア諸地域の動揺</p> <p>第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。 ・ オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ・ ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ・ 東インド会社の統治と比較したうえで、

		<p>イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 東南アジアの植民地化の経緯を理解する。・ タイが植民地されなかった要因を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。・ 中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。・ 清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。・ 東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解する。・ 欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。・ 帝国主義の支配を受けた地域における社会・文化の変化を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。・ この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 列強の植民地化によるアフリカの社会・文化の変容を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。・ 独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解する。・ 20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。・ 改革をおこなったにもかかわらず清朝が
--	--	--

		<p>倒れた原因を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インドにおける民族運動の社会的背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・東南アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。 ・西アジア各地における民族運動の共通点を理解する。
<p>No8 提出期限 12/31</p>	<p>第Ⅲ部 諸地域の結合・変容</p> <p>第16章 第一次世界大戦と世界の変容</p> <p>第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p>	<p>・バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。</p> <p>・歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・戦時外交および総力戦の特徴を理解する。</p> <p>・第一次世界大戦がもたらした影響を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。</p> <p>・西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。</p> <p>・1920年代のソ連とアメリカのそれぞれの国内情勢を理解する。</p> <p>・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を、多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>・南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。</p> <p>・第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯や特徴を理解する。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦による西アジアの政治地図の変化を理解する。 ・ 世界恐慌がおこった背景やその影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ ニューティール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ・ ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ・ ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ・ 日本と中国が全面戦争へいたった背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解する。 ・ 開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ・ 独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ・ 第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 戦後の国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ・ 冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ・ 国民党が共産党に敗れた原因を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ 東南アジアおよび南アジアの独立の背景や経緯を理解する。 ・ 現代の中東問題の要因を多面的・多角的に考察し表現する。
No9	第IV部 地球世界の課題	

<p>提出期限 1/31</p>	<p>第 18 章 冷戦と第三世界の台頭 第 19 章 冷戦の終結と今日の世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ・冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ・スターリン死後のソ連と東欧における変化を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国が、いかなる行動をとったのかを理解する。 ・アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 キューバ革命の背景および影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解する。 ・国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソの代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ・1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。 ・ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。 ・第三世界における開発独裁の特徴を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ・オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・1960～1970年代の中東における変容が経緯を理解する。 ・1970～1980年代に進んだ開発途上国の工業化の経緯を理解する。
----------------------	---	--

		<ul style="list-style-type: none">・1970年代後半から80年代前半において、米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。・ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。・東西対立の緩和が、東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。・ゴルバチョフの改革が挫折した原因を、多面的・多角的に考察し表現する。・旧社会主義国でおこった民族運動や民族対立の特徴を理解する。・冷戦終結後の東アジア諸国の変化を、多面的・多角的に考察し表現する。・今日の東南アジア・南アジア諸国において、いかなる政治的・経済的变化が生じているのかを理解する。・経済における世界の一体化の経緯を理解する。・21世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。・今日の国際秩序の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察し表現する。・20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。・現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解する。・両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。
--	--	---

年間指導計画

科目名	公共	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	1 回
使用教科書	東京書籍 「公共」 (公共 701)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめられるようになる。 ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり、表現できる。 ・よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決できる。 ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を、身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みをおこなうことができる。また、粘り強い取り組みをおこなう中で、自らの学習を調整できる。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出 期限 6/30	第1部 「公共」のとり ら 第1章 公共的な空間 をつくる私たち-社会 のなかの自己 第2章 公共的な空間 における人間としての 在り方生き方-共に生 きるための倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期と自己形成, キャリアについて学習し, 私たちが「公共的な空間」を作り出していく自立した主体であることを理解する ・〈私〉がそれぞれかけがえのない個人としてみなされること, 他者や社会とさまざまなかかわりを結ぶ存在であること, 伝統・文化の影響と向き合いながら価値観を形成する存在であることについて理解する ・三大宗教について理解する ・功利主義と幸福の原理, 義務論と構成の原理について学び, 生命倫理, 環境倫理について考察する

		<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的な観点から物事を選択・判断する際の指針となる基本的な考え方を理解する
No2 提出 期限 7/31	第1部 「公共」のとびら	
	第3章 公共的な空間における基本的原理- 私たちの民主的な社会	<ul style="list-style-type: none"> ・他者とともにより望ましい社会を形成していく際の協働の方法や, 社会制度をつくる基礎となる考えた方について理解する ・民主主義, 立憲主義, 人権保障, 日本国憲法について, 先人が築き上げてきた細かい条文や内容, それらの根本にある基本的原理について理解する
	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	
	第1章 民主政治と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・民主政治, 地方自治の仕組みと役割について理解する ・日本の国会, 内閣の仕組みを学ぶとともに, 世界の政治体制について理解する ・選挙や政党について理解する ・防災, 投票率の低下について諸外国の取り組みについて理解し, 考察する
No3 提出 期限 9/30	第2部 自立した主体として社会に参画する私たち	
	第2章 法の働きと私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・法は私たちの生活にどのようにかかわるのか, 法や規範の意義と役割について理解する ・法の適用とプロセスについて理解する ・現代の市民生活における私法の役割と意義について理解する ・消費生活と契約について理解する ・司法の仕組みや役割, 国民の司法参加について理解する ・裁判員制度について理解する

No4 提出 期限 11/30	第2部 自立した主体 として社会に参画する 私たち	
	第3章 経済社会で生 きる私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経済活動や市場経済の仕組みについて理解する ・価格決定のメカニズムや、資本主義の歴史と経済思想について理解する ・経済の指標や景気変動と物価について理解するとともに、戦後の日本経済の動きについて理解する ・市場経済における金融の仕組みと働きについて理解する ・財政の働きや課題について理解する ・社会保障の考え方や課題について理解する ・諸外国のタクシー事業への規制について調べ、考察する ・日本の社会起業家やクラウドファンディングについて考察する ・諸外国と日本の税の違いについて理解する
No5 提出 期限 12/31	第2部 自立した主体 として社会に参画する 私たち	
	第4章 私たちの職業 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義と職業選択について理解する ・これからのキャリア形成の課題について理解する ・労働者の権利と労働三法について理解する ・現代の雇用・労働問題について理解する
	第5章 国際社会のな かで生きる私たちテー マ1・テーマ2	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会のルールと仕組みについて理解する ・日本の平和と安全はどのように守られてきて、どのように変化してきたのかについて理解する ・他国の働き方について理解する ・国際連合の専門機関が、どのような活動をしているのかについて理解する
No6 提出 期限	第2部 自立した主体 として社会に参画する 私たち	

1/31	第5章 国際社会のなかで生きる私たちテーマ3・テーマ4	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の紛争とその影響を把握し, 平和的な国際社会に向けて日本が果たすべき役割とは何かを理解する ・グローバル化する国際経済について理解する ・貿易の仕組みや国際金融の仕組みと動向について理解する ・戦後の国際経済の動きについて理解する ・今日の国際経済とその諸課題について理解する ・SDGs について理解する
	第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて, 考察, 構想し, 自らの考えを説明, 論述できるようになるためのプロセスについて理解する

年間指導計画

科目名	政治・経済	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	1 回
使用教科書	東京書籍 「政治・経済」 (政経 701)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ・ 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 ・ よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治の役割と民主政治への道のりについて理解する ・ 「法の支配」の考え方を踏まえ、立憲主義と民主主義の関係について理解する ・ 基本的人権に関する原典資料を読解・比較し、基本的人権の確立や内容の変化について理解する ・ 直接民主制と間接民主制を比較し、それぞれの長所と短所について理解する ・ イギリスとアメリカの政治機構を比較し、それぞれの特徴を理解する ・ 大日本帝国憲法と日本国憲法を比較し、それぞれの特徴を理解する ・ 基本的人権が自分の生活のどのような場面に関係しているか考察する ・ 近年の防衛関係費の増加や、政府の憲法第9条解釈の変遷の背景について考察する

<p>No2 提出期限 7/31</p>	<p>第1編 現代日本の政治と経済</p> <p>第1章 現代日本の政治</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衆議院と参議院の違いや、衆議院の優越が認められている理由について理解する ・内閣と国会の関係について、衆議院の解散や総辞職などのしくみを踏まえて理解する ・日本の司法が三審制をとる理由や、最高裁判所が「憲法の番人」とされる理由について理解する ・地方自治の議決機関と執行機関の関係について、中央政府と比較して理解する ・戦後日本の政党政治の変遷について理解する ・衆議院議員および参議院議員の選挙制度の長所と課題について理解する ・日本の政治における争点や政治的意見について具体的な政策をもとに話し合い、自分が賛同する政治的立場について考察する ・選挙権年齢の引き下げの背景を踏まえ、選挙権の行使にはどのような意味があるか理解する
<p>No3 提出期限 9/30</p>	<p>第1編 現代日本の政治と経済</p> <p>第2章 現代日本の経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・希少性の度合いと価格との関係性について理解する ・アダム・スミスの「見えざる手」とはどのようなことを意味しているか理解する ・家計、企業、政府が行う経済活動について理解する ・日本における株式保有比率が変化してきた理由について理解する ・需要曲線と供給曲線による価格の決定について理解する ・なぜ物価変動によって得をする場合と損をする場合があるのか理解する ・金利の変化が暮らしに与える影響や信用創造のしくみについて理解する ・お金をどのように守り、増やし、借りるべきか考察する ・日本の一般会計の歳入と歳出の変化や、プライマリーバランスの重要性について理解する

<p>No4 提出期限 11/30</p>	<p>第1編 現代日本の政治と経済</p> <p>第2章 現代日本の経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「三種の神器」が急速に普及した時期の日本経済の状況について理解する ・日本の一人あたり GDP の変化の特徴について、他国と比較して理解する ・四大公害の発生原因と訴訟の経緯について理解する ・日本経済における農業の地位が低下したのはなぜか考察する ・日本経済における中小企業の地位と日本経済の二重構造について理解する ・統計資料の読解を通して、日本における情報通信産業の発展について理解する ・最近のおもな問題商法について、それぞれどのように対応すればよいか考察する ・消費者トラブルに際して契約の取り消しや解除ができるケースについて理解する ・雇用環境の変化と、非正規雇用者数の推移およびその理由について理解する ・求人票や給与明細書の例の読解を通して、労働契約を結ぶ際に確認すべきことについて理解する ・国民負担率と社会支出の比率の国際比較を通して、日本の社会保障の特徴について理解する
<p>No5 提出期限 12/31</p>	<p>第1編 現代日本の政治と経済</p> <p>第3章 現代日本の諸課題</p> <p>第2編 グローバル化する国際社会</p> <p>第1章 現代の国際政治</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の子育て支援の現状について理解する ・地域社会の現状について理解する ・労働におけるジェンダー平等の現状について理解する ・日本の中小企業の強みと課題について理解する ・日本の財政の現状について理解する ・日本の農業の動向について理解する ・日本が直面する災害とその対策の現状について理解する ・主権国家と国際社会の形成過程や、国際社会の特徴について理解する ・国際社会の秩序維持の要因や、国内法と

		<p>比較した国際法の特徴について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団安全保障のしくみが必要とされた背景や、平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解する ・第二次世界大戦後の国際関係や、冷戦体制の変化について理解する ・冷戦終結後の国際関係の変化や、現在の国際社会が抱える課題について理解する ・世界で地域主義が進んでいる理由や、EUの成立過程および特徴について理解する ・核抑止体制の問題点や、軍縮をめぐる現在の動向について理解する ・近年、国境を越えたテロリズムが多発している理由について理解する ・日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解する
<p>No6 提出期限 1/31</p>	<p>第2編 グローバル化する国際社会</p>	
	<p>第2章 現代の国際経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義や、国際収支の各項目に反映される経済取り引きについて理解する ・現代の国際通貨体制の変遷や、近年経済政策の分野で各国の政策協調が必要になっている理由について理解する ・南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや、新興経済諸国の現状について理解する ・経済のグローバル化の進展や、近年の国際金融の変化について理解する ・地球環境問題や、地球環境問題への対応をめぐる国際社会の利害対立について理解する ・資源・エネルギーに関する課題や、原子力発電に関する日本および各国の政策について理解する ・21世紀の世界人口の変動予想や、貧困の発生要因について理解する
	<p>第3章 国際社会の諸課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の多文化共生をめぐる状況について理解する ・地球温暖化とその対策の現状について理解する ・貧困と開発援助の現状について理解する

		<ul style="list-style-type: none">・医療のイノベーションの現状について理解する・パレスチナ問題の経緯と現状について理解する・SDGsの達成に向けた取り組みの現状について理解する
--	--	---

年間指導計画

科目名	道徳 I	単位数	1 単位
添削指導枚数	3枚	面接指導回数	1回
使用教科書	高校生のための道徳 I		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・自立心や自律性を高め、規律ある生活をする ・生命を尊重する心を育てる ・社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う ・義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付ける

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 6/30	1. 道徳とは何か？	<ul style="list-style-type: none"> ・法律だけでは保てない社会秩序を保つために、道徳が存在することを理解する。 ・日本文化の核としての、道徳の価値を理解する。 ・「道徳とは何か」という命題について、日本古来の利他主義を手掛かりに考察する。
	2. 命のバトン・リレー	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が生を受けるために多数の先祖の存在があること、そのうち一人でも欠けたら自分自身の存在がないことを理解し、命の尊さを知る。 ・鳥浜トメの生涯を通し、特攻兵が現代の自分たちにどのような未来を託したのかを理解する。
	3. 親孝行	<ul style="list-style-type: none"> ・先祖からの愛情を、両親を通して受けていることや世界中どの国でも通用する道徳が親孝行であることを知り、自分自身を大切にす気持を育む。 ・藤田東湖・中江藤樹の生涯を通し、親が子を思う気持ちと子が親を思う気持ちについて考えるきっかけとする。
	4. 絆	<ul style="list-style-type: none"> ・先祖や子・孫との縦の絆や、兄弟姉妹や友人、地域社会や同僚、同じ国民としての横の絆があることを知り、その交差するところに人間社会の最小単位である家族があることを理解する。
	5. 教育勅語	<ul style="list-style-type: none"> ・教育勅語の本文・現代語訳を紹介し、その中に十二の徳目があること、現代に通じる内容も含まれることを理解する。 ・井上毅・元田永孚の生涯を通し、本校がある熊本出身の人物2名が中心となって協力し、教育勅語をつくりあげたことを知る。
No2	6. 誇りある日本人	<ul style="list-style-type: none"> ・松江豊寿・後藤新平・池田菊苗・副島種臣・

提出期限 10/31		佐野常民の生涯を通し、敗者への思いやり、都市復興、科学者としてのプライド、国際法の理解、博愛の精神などに触れる。
	7. 誇りある日本人(学者・教育者)	・緒方洪庵・広瀬淡窓・細井平洲・塙保己一・伊能忠敬・本居宣長・石田梅岩の生涯を通し、学問の大切さや人との接し方、ハンデキャップを乗り越えるために大切なことなどに触れる。
No3 提出期限 1/31	8. 誇りある日本人(歌人・絵師)	・歌川広重・葛飾北斎・大伴家持の生涯を通し、日本の文化に触れるとともに、海外で人気のある浮世絵を広めた2人の人物の生き方を学び、千年以上前の人が詠んだ歌を味わうことのできる和歌が持つ魅力を知る。
	9. 誇りある日本人(小説家)	・川端康成・司馬遼太郎・夏目漱石の生涯を通し、それぞれが生きた時代背景を知り、日本の伝統的な「美」、「歴史小説」というジャンルの確立、国民的長編小説が人気となったことなどを理解する。
	10. 誇りある日本人(実業家)	・松下幸之助・石橋正二郎の生涯を通し、物事の工夫や発想の転換・目の付け所を学び、本当に大切なものや譲れないものは何かということを考える。

年間指導計画

科目名	道徳Ⅱ	単位数	1単位
添削指導枚数	3枚	面接指導回数	1回
使用教科書	高校生のための道徳Ⅱ		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・自立心や自律性を高め、規律ある生活をする ・生命を尊重する心を育てる ・社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う ・義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付ける

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 6/30	1. 志	<ul style="list-style-type: none"> ・志について学び、人生を充実させるための目標の立て方について考察する。 ・北里柴三郎・新渡戸稲造・津田梅子・高杉晋作・橋本左内・吉田松陰・横井小楠・坂本龍馬・恩田木工・間宮林蔵・鈴木重成・空海の生涯を通し、それぞれの人物が成し遂げた内容を理解し、達成に至るまでの各人物の思いを知る。
No2 提出期限 10/31	2. 利他心	<ul style="list-style-type: none"> ・幸せに生きることと利他心との関係を理解し、自己にとっての真の幸福や生きがいについて考える。 ・沖周と大島の島民・渋沢栄一・東日本大震災の殉職者が行った施策や行動を通し、役目を全うすることの大切さや思いやりの心、「誰かのために」という想いの尊さを再確認する。
	3. 権利と義務	<ul style="list-style-type: none"> ・権利と義務が表裏一体であることを理解し、それらとの適切な距離感を身に着ける。
	4. 国と郷土を愛する心	<ul style="list-style-type: none"> ・当校の校訓である「国を愛し、郷土を愛し、人を愛する」に基づき、国際社会で今後活躍する日本人たるべく、国と自分自身、郷土と自分自身が結びついていることを理解する。 ・岡倉天心・布田保之助の生き方を通し、祖国への思い、郷土への思いを持って生きることの大切さを知る。
	5. 国旗と国歌	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国旗と国歌、それらの意味と由来について理解する。 ・国際社会における国旗と国歌の取り扱われ方を通して、日本における望ましい在り方を考える。 ・国際的式典やスポーツイベントにおける国旗・国歌の位置づけを理解し、自国・他国問わず国旗・国歌に敬意を表すべきこと

		<p>を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島津斉彬が日の丸を日本の総船章とすることを建議したこと、薩摩藩の「昇平丸」に日の丸が掲揚されたのが、国旗として船舶に掲揚された第一号であることを知る。
	6. 日本の心	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」という言葉が持つ、明るさや元気よさ、「もったいない」が示すものを大切にする文化、「はたらく」が意味する他の人へのいたわりなどを知り、日本語が持つ隠れた側面を理解する。 ・福沢諭吉・二宮尊徳・上杉鷹山・北条時宗の生涯を知り、独立自尊や積小為大の考え方、主君としてのあり方や国を守る姿勢などを理解する。
No3 提出期限 1/31	7. 武将	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康・豊臣秀吉・織田信長の三英傑の生き方を学び、それぞれの人物が各時代に中心人物となった理由を考える。 ・加藤清正・武田信玄の生涯を知り、戦国時代にどのように行動し、現地の人々から信頼を得られるようになったのかを理解する。 ・源頼朝の生涯を知り、武士の棟梁としての役割や、征夷大將軍として全国の御家人を治めた際の方法について理解する。また、朝廷に対しての姿勢が頼朝以降に形作られたことを知る。
	8. 幕末	<ul style="list-style-type: none"> ・久坂玄瑞・真木保臣・佐久良東雄の生き方より、日本の進む方向性を真剣に考え、若くして散った命があったことを理解する。 ・鍋島直正・毛利敬親の生涯を知り、藩主として人材の育成や藩における新しい技術の導入など、創意工夫を行い幕末に存在感を示したことを理解する。

年間指導計画

科目名	道徳Ⅲ	単位数	1単位
添削指導枚数	3枚	面接指導回数	1回
使用教科書	高校生のための道徳Ⅲ		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・自立心や自律性を高め、規律ある生活をする ・生命を尊重する心を育てる ・社会連帯の自覚を高め、主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養う ・義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養う ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付ける

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 6/30	1. 日本の国柄 ①昭和天皇 ②昭憲皇太后 ③明治天皇	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における天皇陛下の意義と世界の歴史との違いについて学んでいく。 ・昭和天皇の決断と戦後の御巡幸、最後まで国民の生活と安寧を思う気持ちを知り、日本の国柄を考えていく。 ・昭憲皇太后に纏わるエピソードを通じて皇室とはどのような存在であるのか考えていく。 ・明治天皇の「五箇条の御誓文」を通して古くより存在していた日本の民主主義の考え方を学んでいく。また、明治天皇のお姿を通して平和の尊さと人々を愛しむ大切さを考えていく。
	1. 日本の国柄 ④孝明天皇 ⑤徳川光圀 ⑥和氣清麻呂	<ul style="list-style-type: none"> ・日米修好通商条約締結を巡り、孝明天皇が最後まで反対された思いを知り、日本における天皇とはどのような存在であるかを考えていく。 ・『大日本史』編纂を巡って、徳川光圀が大切にしていた「我が主君は天子(天皇)なり」の考えを知り、後に「水戸学」へと発展して現代まで受け継がれていることを学んでいく。 ・弓削道鏡の野望を打ち砕き、皇室を守るために尽力された和氣清麻呂の活躍について学んでいく。
	1. 日本の国柄 ⑦聖徳太子 ⑧神武天皇	<ul style="list-style-type: none"> ・聖徳太子の言葉や活動を通して、日本人が大切にしている「和」の心や議論の大切さを知る。また、隋と対等な関係を築いたことで現在に至るまで「日本」という一つの独立国として存在できていることを学んでいく。 ・神武天皇の東征と神話の中で語り継がれていることを知り、日本建国の歴史と日本という国の在り方について学んでいく。
	2. 明治維新 ⑨陸奥宗光 ⑩伊藤博文 ⑪頭山満	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア、アフリカ諸国が欧米諸国の植民地となる中、明治維新を起こして独立を保ち近代化へと至った理由について学んでいく。 ・陸奥宗光による不平等条約の改正までの流れと回想録である『蹇々録』を通して陸奥が日

		<p>本を守るために尽力した様子を学んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊藤博文の生涯を通して、伊藤がいかに日本を近代化にさせることを真剣に考えていたこと、また大日本帝国憲法制定に向けて尽力し、日本の国難を乗り越えるために奔走したいことを学んでいく。 ・頭山満のつくった玄洋社の活動が戦後のインド独立に大きく貢献したことを学んでいく。
<p>No2 提出期限 10/31</p>	<p>2. 明治維新</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑫前島密 ⑬木戸孝允 ⑭西郷隆盛 ⑮山岡鉄舟 	<ul style="list-style-type: none"> ・前島密が日本の郵便制度を確立していく流れについて学び、前島が郵便を通して国を発展させることに尽力していたことを学んでいく。 ・木戸孝允の「五箇条の御誓文」作成の際にかけた思いを知り、版籍奉還を通して古い慣習を辞め近代化国家として歩んでいくために努力し続けた姿を学んでいく。 ・明治維新を実現するために尽力した西郷隆盛の姿について学んでいき、今なお多くの人々に語り継がれていく西郷隆盛の人物像に考えていく。 ・幕末に西郷隆盛と会談して江戸を守り抜き、明治維新後は明治天皇の教育係を勤め明治天皇から厚く信頼されていた山岡鉄舟の生き様について学んでいく。
<p>3. 日露戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑯桂太郎 ⑰乃木希典 ⑱東郷平八郎 	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争に勝利し日本を存亡の危機から救った人物や戦いについて学び、日本の勝利が白人国家による植民地支配を受けていたアジア・アフリカの人々に勇気を与えたことについて学んでいく。 ・日露戦争時の首相であった桂太郎が近代日本の政治の在り方について常に模索し、日露戦争の勝利に向けて尽力した姿について学んでいく。 ・日露戦争に従軍し、日本の勝利に大きく貢献した乃木希典について触れ、明治天皇から厚い信頼を寄せられ、昭和天皇の人生観に大きな影響を与えたことを学んでいく。 ・薩英戦争の経験から海防の重要性を知り、後に日本海海戦において大勝利をもたらした東郷平八郎について触れ、東郷が世界にその名が知られていることについて学んでいく。 	
<p>3. 日露戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑲児玉源太郎 ⑳秋山好古 ㉑秋山真之 	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争の旅順戦勝利のために尽力した児玉源太郎の思いや生き様に触れ、児玉が自分のためではなく最後まで日本のために尽くしていたことを学んでいく。 ・日本陸軍の「騎兵の父」と称された秋山好古の人生について触れ、日露戦争の奉天会戦にて好古の活躍が日本の勝利にもたらしたことを学んでいく。 ・日露戦争の日本海海戦で「七段構え」の作戦を立案した秋山真之の生涯について学んでいく。 	
<p>3. 日露戦争</p> <ul style="list-style-type: none"> ㉒広瀬武夫 ㉓小村寿太郎 ㉔乃木静子 	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争で殉じた広瀬武夫について知り、死後故郷の大分県の竹田市にて祀られ無私に徹した武士道を貫いた広瀬の人生観について考える。 ・日露戦争の講和の全権を努め、ロシアとの困難な交渉を成功させ、ポーツマス条約を締 	

		<p>結し、幕末以来日本にとって大きな問題となっていた不平等条約の問題を解決した小村寿太郎の功績について深く学んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乃木希典の妻として日露戦争に従軍する夫と息子を献身的に支え、明治天皇の崩御後に乃木希典とともに殉死した乃木静子について深く学んでいく。
<p>No3 提出期限 1/31</p>	<p>4. 第一次世界大戦 ⑳牧野伸顕</p> <p>5. 大東亜戦争 ㉑吉田茂 ㉒ラダ・ビノード・パール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパで発生した第一次世界大戦について知り、その後の日本のことについて学んでいく。 ・日本の外交官としてパリ講和会議に参加し、国際連盟の規約に『人種平等案』を提案した牧野伸顕について詳しく学んでいく。 ・日本が大東亜戦争に至るまで流れと昭和天皇の御決断とその思いについて学んでいく。 ・戦後日本を共産主義勢力から守るためにサンフランシスコ講話会議で単独講和に尽力していた吉田茂について詳しく学んでいく。 ・極東国際軍事裁判で一貫して日本の戦争犯罪人らの無罪を主張し、日本を愛し続けたラダ・ビノード・パールについて詳しく学び、日本を去る前にパールが行ったスピーチの内容を通じて日本人としての誇りを取り戻す。
	<p>5. 大東亜戦争 ㉓東条英機 ㉔栗林忠道 ㉕中川州男</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大東亜戦争開戦時の首相であり、戦後A級戦犯として殉難された東条英機の為人について詳しく学んでいく。 ・硫黄島の戦いにおいて最後まで死力を尽くされ、日本を守ろうとした栗林忠道中将の思いや行動について深く学んでいく。 ・ペリリュー島の戦いにおいて原地民を避難させ命を守り、最後まで徹底してアメリカ軍に抵抗し日本を守ろうとした中川州男の生き様について詳しく学んでいく。
	<p>5. 大東亜戦争 ㉖大西瀧治郎 ㉗藤原岩市 ㉘広田弘毅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・神風特別攻撃隊を立案し、英霊となっていた特攻兵に対して最後まで心を砕かれ、最後は自ら責任を取り自刃された大西瀧治郎の思いについて学んでいく。 ・「インド国民軍」を組織結成に協力し、戦後のインド独立に尽力した藤原岩市について学んでいく。 ・外務大臣として協調外交に努め、戦後A級戦犯として殉難された広田弘毅の功績と広田を支持した人々の思いについて学んでいく。
	<p>6. 義 ㉙杉原千畝 ㉚樋口季一郎 ㉛大石良雄 ㉜楠木正成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・武士道の基本である「義」について正しく学び、日本人としての義を大切にしていく。 ・駐日リトアニア大使を勤め、独断でビザを発行して6000人にも及ぶユダヤ人の命を救い、戦後イスラエル政府から表彰された杉原千畝の活動について学んでいく。 ・ナチスドイツからの迫害を逃れ満州で足止めを受けてい2万人のユダヤ人の命を救い、戦後ユダヤ人から感謝され、偉人の一人として名前を残した樋口季一郎の人生について学んでいく。 ・亡き主君の無念を晴らすために立ち上がった大石良雄(内蔵介)について詳しく学んでいく。

		・後醍醐天皇に対して最後まで忠義を貫き、後世に「七生報国」の精神を残して明治維新の志士達に大きな影響を与えた楠木正成の心について深く学んでいく。
--	--	--

年間指導計画

科目名	数学 I	単位数	3 単位
添削指導枚数	9 枚	面接指導回数	3 回
使用教科書	東京書籍「新数学 I」(数 I 704)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>(1) 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 章 数と式 1 節 文字と式	<p>【1】文字を使った式の表し方の約束を確認し，正しく文字式を扱うことができる。</p> <p>【2】単項式，単項式の次数，係数，多項式，項，定数項，同類項，多項式の次数，n 次式など，式についての用語の意味を理解し，多項式を整理する中で，式についての見方を豊かにする。</p> <p>【3】多項式と数のかけ算，多項式の加法・減法の仕組みを理解し，それらの計算ができる。</p> <p>【4】指数法則，単項式の乗法について理解し，さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。</p> <p>【5】乗法公式について理解し，乗法公式が利用できる。</p> <p>【6】分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し，因数分解の公式が利用できる。</p> <p>【7】x^2の係数が 1 以外の多項式を因数分解することができる。</p> <p>【8】式の一部を 1 つの文字に置き換えて考えるなど，見通しをもって多項式を展開，因数分解することができる。</p>

No2 提出期限 6/30	1章 数と式	
	2節 実数	<p>【1】平方根について理解する。</p> <p>【2】根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。</p> <p>【3】自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。</p> <p>【4】有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。</p>
	3節 方程式と不等式	<p>【1】1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。また、1次方程式を利用して身近な問題を解決することができる。</p> <p>【2】不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。</p> <p>【3】不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。</p> <p>【4】不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。</p> <p>【5】不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。また、1次不等式を利用して、文章題を解くことができる。</p>
No3 提出期限 6/30	1章 数と式	
	3節 方程式と不等式	<p>【6】2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。</p> <p>【7】解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。</p>
No4 提出期限 7/31	2章 2次関数	
	1節 2次関数とそのグラフ	<p>【1】変化する2つの変数の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。</p> <p>【2】1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。</p> <p>【3】具体的な事象から2次関数の概念を理解する。また、2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかきことができる。</p> <p>【4】関数 $y = ax^2$ のグラフを x 軸方向や y 軸方向に平行移動したグラフをかきことができる。</p> <p>【5】2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x -$</p>

		$p)^2 + q$ の形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。
	2 節 2 次関数の値の変化	【1】2 次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。
No5 提出期限 9/30	2 章 2 次関数	
	2 節 2 次関数の値の変化	<p>【1】2 次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。また、それを利用して身近な問題を解決することができる。</p> <p>【2】2 次関数のグラフと 2 次方程式の解の関係を理解し、グラフと x 軸の共有点の x 座標を求めることができる。また、式の見方を豊かにするとともに、グラフを活用することのよさを認識する。</p> <p>【3】2 次関数のグラフと関連させて、2 次不等式を解くことができる。</p> <p>【4】2 次関数のグラフと x 軸の共有点の位置関係から 2 次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して 2 次不等式を解くことができる。</p>
No6 提出期限 10/31	3 章 三角比	
	1 節 鋭角の三角比	<p>【1】相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。</p> <p>【2】タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。</p> <p>【3】サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。</p> <p>【4】三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。また、三角比を利用して具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識する。</p> <p>【5】三角比の相互関係について理解し、1 つの三角比の値から他の 2 つの三角比の値を求めることができる。</p>
No7 提出期限 11/30	3 章 三角比	
	2 節 三角比の応用	<p>【1】与えられた辺の長さや角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。</p> <p>【2】正弦定理を理解し、図形の計量の際</p>

		<p>に有効に活用することができる。</p> <p>【3】余弦定理を理解し，図形の計量の際に有効に活用することができる。</p> <p>【4】座標を用いて定めることで 0° から 180° までの角に対するものに拡張された三角比を理解し，その値を求めることができる。</p> <p>【5】角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また，$180^\circ - \theta$ の三角比の値を求めることができる。</p> <p>【6】角が鈍角の場合も正弦定理，余弦定理，三角形の面積の公式が成り立つことを理解し，図形の計量の際に有効に活用することができる。また，三角比を空間図形の計量に活用することができる。</p>
No8 提出期限 12/31	4章 データの分析	
	1節 データの分析	<p>【1】統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。</p> <p>【2】データや階級，度数，階級値，度数分布表，累積度数，ヒストグラム，相対度数，累積相対度数の定義や意味を理解し，目的やデータに応じて，度数分布表，ヒストグラムなどに表すことができる。</p> <p>【3】データの特徴を 1 つの数値によって表せることを理解し，それを平均値，中央値，最頻値などの代表値で表すことができる。</p> <p>【4】データの散らばり具合を表す四分位数，四分位範囲の定義や意味を理解する。また，それを箱ひげ図に表すことができる。</p> <p>【5】分散，標準偏差を理解し，それを求めることができる。</p> <p>【6】相関関係について理解する。</p> <p>【7】相関関係の強弱を表す相関係数について理解し，相関の強さが表せることの有用性を認識できる。</p> <p>【8】仮説検定の考え方を理解するとともに，不確実な事象の起こりやすさに着目し，主張の妥当性について，実験などを通して判断したり，批判的に考察したりすることができる。</p>
No9 提出期限 1/31	5章 集合と論証	
	1節 集合と論証	<p>【1】部分集合，全体集合，補集合，共通部分，和集合などの集合の表し方，用語，記号を，図を用いて理解し，記号を使って</p>

		<p>表すことができる。</p> <p>【2】命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件，十分条件，必要十分条件の意味を知り，さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。</p> <p>【3】命題の逆，裏，対偶について理解し，対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び，論理的な思考力を養う。</p>
--	--	---

年間指導計画

科目名	数学 A	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	2 回
使用教科書	東京書籍「新数学 A」(数 A 704)		
評価	レポート評価点及び提出日，面接指導時の取り組む様子，並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>(1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 図形の構成要素間関係などに着目し，図形の性質を見だし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見だし，数理的に考察する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 章 場合の数と確率	
	1 節 場合の数	<p>【1】集合の記号，要素について学び，実際に表すことができる。</p> <p>【2】集合の要素の個数について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【3】あることがらが起こる場合の数について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【4】樹形図について学び，実際に活用することができる。</p> <p>【5】順列について学び，P の計算ができる。</p> <p>【6】順列について学び，順列の総数を求めることができる。</p>
No2 提出期限 7/31	1 章 場合の数と確率	
	1 節 場合の数 2 節 確率	<p>【1】組み合わせについて学び，C の計算ができる。</p> <p>【2】組み合わせについて学び，組み合わせの総数を求めることができる。</p> <p>【3】確率の意味を学び，実際に求めることができる。</p> <p>【4】いろいろな試行での確率を求めることができる。</p> <p>【5】余事象の確率を学び，実際に求めることができる。</p>
No3 提出期限 9/30	1 章 場合の数と確率	
	2 節 確率	<p>【1】独立な試行の確率について学び，実</p>

		<p>際に求めることができる。</p> <p>【2】 反復試行の確率について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【3】 条件付きの確率について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【4】 期待値について学び，実際に求めることができる。</p>
No4 提出期限 11/30	2章 図形の性質	
	<p>1節 平面図形の基礎</p> <p>2節 三角形の性質</p>	<p>【1】 対頂角，同位角，錯角の性質を学び，実際に求めることができる。</p> <p>【2】 多角形の角の性質について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【3】 三角形と比について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【4】 中点連結定理について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【5】 三角形の重心について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【6】 角の二等分線について学び，実際に求めることができる。</p>
No5 提出期限 12/31	2章 図形の性質	
	<p>3節 円の性質</p> <p>4節 空間図形</p>	<p>【1】 円の接線の性質を利用して，接線の長さを求めることができる。</p> <p>【2】 円周角の定理について学び，実際に求めることができる。</p> <p>【3】 円に内接する四角形について学び，角度を求めることができる。</p> <p>【4】 方べきの定理について学び，円と2つの直線がつくる線分を求めることができる。</p> <p>【5】 空間内の直線や平面の位置関係について理解を深める。</p>
No6 提出期限 1/31	3章 数学と人間の活動	
	<p>1節 数や位置を表す</p> <p>2節 数のつくりを調べる</p>	<p>【1】 数の表し方について学び，2進法を10進法に，10進法を2進法に表すことができる。</p> <p>【2】 素数について学び，素因数分解ができる。</p> <p>【3】 数のつくりに注目して，2つの整数の最大公約数，最小公倍数を求めることができる。</p> <p>【4】 ユークリッドの互除法を用いて，2つの整数の最大公約数を求めることができる。</p>

年間指導計画

科目名	数学Ⅱ	単位数	4
添削指導枚数	12枚	面接指導回数	4回
使用教科書	東京書籍「数学ⅡStandard」(数Ⅱ702)		
評価	レポート評価点及び提出日，面接指導時の取り組む様子，並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1章 方程式・式と証明	
	1節 多項式・分数式の計算	<p>【1】三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し，計算することができる。</p> <p>【2】多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し，計算をすることができる。</p>
No2 提出期限 6/30	1章 方程式・式と証明	
	2節 2次方程式	<p>【1】虚数単位を理解するとともに，数を複素数まで拡張する意義を理解し，複素数の四則計算をすることができる。</p> <p>【2】二次方程式の解の種類判別及び解と係数の関係について理解し，解を判別することができる。</p>
No3 提出期限 6/30	1章 方程式・式と証明	
	3節 高次方程式	<p>【1】多項式の除法について理解し，商と余りの関係を表すことができる。</p> <p>【2】簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。</p>
	4節 式と証明	<p>【1】左辺と右辺をそれぞれ計算することで，等式を証明し，論理的な思考力を養う。</p>

		【2】等式や不等式の基本的な性質，相加・相乗平均の関係などを用いて，等式や不等式が成り立つことを証明することができる。
No4 提出期限 7/31	2章 図形と方程式	
	1節 点と直線	<p>【1】数直線上の2点間の距離を求めることができる。また，線分の内分・外分の意味を理解し，数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。また，三角形の重心の座標を求めることができる。</p> <p>【2】座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。</p> <p>【3】直線の傾きと切片について理解する。1点と傾きが与えられたとき，2点が与えられたときの直線の方程式を求めることができる。</p> <p>【4】平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し，それらを用いて直線の方程式を求めることができる。</p>
No5 提出期限 7/31	2章 図形と方程式	
	2節 円	<p>【1】円を定点からの距離が一定である点の集合と考え，その方程式をについて考察する。</p> <p>【2】円の中心や半径など与えられた条件から円の方程式を求めることができる。また，円の方程式から円の中心の座標と半径を求めることができる。</p> <p>【3】円と直線の共有点の座標を求めることができる。また，円と直線の共有点の個数について，2次方程式の符号と対応していることを理解する。</p>
No6 提出期限 9/30	3章 三角関数	
	1節 三角関数	<p>【1】三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解する。</p> <p>【2】三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。</p>
No7 提出期限 10/31	3章 三角関数	
	1節 三角関数	<p>【1】角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。</p> <p>【2】三角関数の性質を用いて三角関数の値を求めることができる。</p> <p>【3】三角関数のグラフの特徴を理解し，そのグラフをかくことができる。</p>
	2節 加法定理	【1】三角関数の加法定理や2倍角の公

		式、三角関数の合成について理解する。 【2】弧度法の意味を理解し、弧度法による扇形の弧の長さや面積を求めることができる。
No8 提出期限 10/31	4章 指数関数・対数関数	
	1節 指数関数	【1】指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 【2】指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、大小比較をすることができる。
No9 提出期限 11/30	4章 指数関数・対数関数	
	2節 対数関数	【1】対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 【2】指数と対数を相互に関連付けることができる。 【3】対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、対数関数のグラフをかいたり、大小比較をしたりすることができる。
No10 提出期限 11/30	5章 微分と積分	
	1節 微分の考え	【1】関数の平均変化率が曲線上の2点を通る直線の傾きに等しいことを理解し、平均変化率を求めることができる。 【2】微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。
No11 提出期限 12/31	5章 微分と積分	
	1節 微分の考え	【1】導関数の符号を利用して、関数の増減を調べることができる。 【2】関数の極大・極小の意味を理解し、極大値・極小値を求めることができる。 【3】ある定義域における関数の最大値・最小値を、増減を調べることによって求めることができる。
No12 提出期限 1/31	5章 微分と積分	
	2節 積分の考え	【1】関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 【2】不定積分及び定積分の意味について理解し、公式を用いて不定積分及び定積分を求めることができる。 【3】定積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。

年間指導計画

科目名	数学 B	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	2 回
使用教科書	東京書籍「数学B Standard」(数 B702)		
評価	レポート評価点及び提出日，面接指導時の取り組む様子，並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 章 数列	
	1 節 数列	<p>【1】等差数列と等比数列について理解しそれらの一般項を，初項と公差や公比を用いて表すことができる。</p> <p>【2】等差数列と等比数列の初項から第 n 項までの和の求め方を理解し，n を用いて表すことができる。</p>
No2 提出期限 7/31	1 章 数列	
	2 節 いろいろな数列	<p>【1】記号 Σ の意味と性質を理解し，自然数の累乗の和を Σ を用いて表すことができる。</p> <p>【2】階差数列が等差数列や等比数列となるような簡単な数列の場合について理解し，一般項を求めることができる。</p> <p>【3】等差数列と等比数列の各項同士の積をそれぞれの項にもつ数列を取り上げ，その和の求め方を，等比数列の和の公式を導く際に用いた工夫を基に考察し，求めることができる。</p>
No3 提出期限 9/30	1 章 数列	
	3 節 漸化式と数学的帰納法	<p>【1】一次の形の隣接二項間漸化式を用いて表された数列の，一般項を求めることができる。</p>

		【2】 数学的帰納法について理解し，自然数の性質などを見だし，それらを数学的帰納法を用いて証明することができる。
No4 提出期限 11/30	2章 統計的な推測	
	1節 標本調査	【1】 標本調査の意義を認識し，標本の抽出法や用語などを理解することができる。
	2節 確率分布	【1】 確率変数と確率分布について理解し，確率分布を求めることができる。 【2】 確率変数の平均と分散の意味を理解し，確率変数の平均や分散，標準偏差を求めることができる。 【3】 確率変数 $aX+b$ の平均や分散，標準偏差について理解し，それらを求めることができる。 【4】 二項分布の意味を理解し，二項分布の確率や平均，分散及び標準偏差を求めることができる。
No5 提出期限 12/31	2章 統計的な推測	
	3節 正規分布	【1】 確率密度関数によって確率分布が定められているときの，確率を求めることができる。 【2】 正規分布について理解し，正規分布に従う確率変数の確率を求めることができる。 【3】 二項分布を正規分布で近似して，確率を求めることができる。
No6 提出期限 1/31	2章 統計的な推測	
	4節 統計的な推測	【1】 母平均，母分散，母標準偏差や標本平均の分布，分散などを求めることができる。 【2】 信頼度 95%の信頼区間という考え方を理解し，母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。 【3】 仮説検定の考えや帰無仮説，対立仮説，有意水準，棄却域などの用語について理解し，母平均の検定，母比率の検定を行うことができる。

年間指導計画

科目名	数学Ⅲ	単位数	3単位
添削指導枚数	9枚	面接指導回数	3回
使用教科書	東京書籍「数学Ⅲ Standard」(数Ⅲ 702)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1章 関数と極限	
	1節 関数	<p>【1】分数式で表される関数のグラフとその特徴について学び、実際にグラフにかくことができる。</p> <p>【2】無理関数で表される関数のグラフとその特徴について学び、実際にグラフにかくことができる。</p> <p>【3】逆関数について理解し、実際に求めることができる。</p> <p>【4】合成関数について理解し、実際に求めることができる。</p>
No2 提出期限 6/30	1章 関数と極限	
	2節 数列の極限	<p>【1】無限数列について学び、その数列が収束する場合に極限値を求めることができる。</p> <p>【2】数列の収束と発散について、式変形をして求めることができる。</p> <p>【3】収束する数列の実数倍や、2つの数列を加減乗除した形の数列の収束・発散について、式変形をして求めることができる。</p> <p>【4】はさみうちの原理を利用して、三角関数の極限値を求めることができる。</p> <p>【5】r^n が収束、発散する条件を理解し、具体的な数列の極限を調べることができる。</p> <p>【6】無限等比級数が収束、発散する条件を理解し、具体的な無限等比級数の極限を調べることができる。</p> <p>【7】無限級数が収束、発散する条件を理解し、具体的な無限級数の極限を調べることができる。</p> <p>【8】隣接2項間の漸化式を解いて、数列の極限値を求めることができる。</p> <p>【9】図形への応用。1番目と2番目、2番目と3番目の関係から帰納的に漸化式を立て、極限値を求めることができる。</p>
No3 提出期限 6/30	1章 関数と極限	
	3節 関数の極限	<p>【1】無理関数や無理関数の収束、発散の条件を理解し、具体的な関数の極限を調べるこ</p>

		<p>ができる。</p> <p>【2】指数関数と対数関数, 三角関数の収束, 発散の条件を理解し, 具体的な関数の極限を調べることができる。</p> <p>【3】関数の連続性について理解し, 分数関数や無理関数の場合について考察することができる。</p> <p>【4】関数系が変わる定義域の端点において, 極限值が存在するか否かの条件を理解することができる。</p> <p>【5】中間値の定理について理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p>
No4 提出期限 7/31	2章 微分	
	1節 導関数	<p>【1】微分係数の公式を理解し, 具体的なxの値での微分係数を算出できる。</p> <p>【2】微分可能の条件を理解し, 実際の問題にあてはめることができる。</p> <p>【3】導関数の定義式を理解し, 定義式にあてはめて, 簡単な関数の導関数を導くことができる。</p> <p>【4】積の微分と商の微分の公式を理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p> <p>【5】合成関数の微分の公式を理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p> <p>【6】rが有理数のとき, x^rの微分が rx^{r-1}になることを理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p> <p>【7】逆関数の微分法を理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p>
	2節 いろいろな関数の導関数	<p>【1】三角関数の微分法を理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p> <p>【2】対数関数の微分法を理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p> <p>【3】指数関数の微分法を理解し, 具体的な問題にあてはめることができる。</p>
No5 提出期限 9/30	3章 微分の応用	
	1節 関数の増減	<p>【1】接線の公式を理解し, 具体的な曲線の接線を扱うことができる。</p> <p>【2】法線を理解し, 具体的な曲線の法線を導くことができる。</p> <p>【3】</p> <p>①両辺をxで微分することにより, dy/dxをxとyを用いて表すことができる。</p> <p>②①により求めたdy/dxを利用して, 接線の方程式を導くことができる。</p> <p>【4】媒介変数で表された関数の接線の方程式を導くことができる。</p> <p>【5】2次曲線の接線の公式を導くことができる。</p> <p>【6】平均値の定理を理解することができる。</p> <p>【7】極値を理解し, 極大値や極小値を求めることができる。</p> <p>【8】曲線の凹凸や変曲点を理解することができる。</p> <p>【9】増減表と極値, 凹凸の表と変曲点をもとに, グラフをかくことができる。</p> <p>【10】第2次導関数を利用して, 極値を求める</p>

		<p>ことができる。</p> <p>【11】漸近線を求めることができる。</p>
No6 提出期限 10/31	3章 微分の応用	
	2節 最大・最小	<p>【1】関数の最大値・最小値を、微分法を利用して求めることができる。</p> <p>【2】微分法を利用して、不等式の証明や方程式の解の個数を調べることができる。</p> <p>【3】微分法を利用して、動点Pの速度・加速度を求めることができる。</p> <p>【4】微分法を利用して、近似値を求められる。</p> <p>【5】平均値の定理を利用して、不等式を証明することができる。</p>
No7 提出期限 11/30	4章 積分とその応用	
	1節 不定積分	<p>【1】$\int xa$ を積分することができる。</p> <p>【2】三角関数や指数関数の不定積分の公式を理解し、利用することができる。</p> <p>【3】$\int f(ax+b)$ の不定積分の公式を理解し、利用することができる。</p> <p>【4】置換積分法を理解し、具体的な関数を積分することができる。</p> <p>【5】部分積分法を理解し、具体的な関数を積分することができる。</p> <p>【6】部分分数に変形できる分数関数を部分分数に変形し、積分することができる。</p> <p>【7】三角関数を和・差に直す公式を用いて、三角関数の積分をすることができる。</p>
No8 提出期限 12/31	4章 積分とその応用	
	2節 定積分	<p>【1】単項式・多項式の定積分を求めることができる。</p> <p>【2】絶対値のついた関数の定積分を求めることができる。</p> <p>【3】置換積分法を利用して、定積分を計算することができる。</p> <p>【4】偶関数・奇関数の定積分を、公式を利用して計算することができる。</p> <p>【5】部分積分法を利用して、定積分を計算することができる。</p> <p>【6】定積分で表された関数を扱うことができる。</p> <p>【7】区分求積法の公式を理解し、具体的な問題を解くことができる。</p> <p>【8】積分を利用して、不等式を証明することができる。</p>
No9 提出期限 1/31	4章 積分とその応用	
	3節 面積・体積・長さ	<p>【1】2つのグラフに囲まれた図形の面積を求めることができる。</p> <p>【2】x軸まわり、またはy軸まわりの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>【3】立体の断面積を用いて、体積を求めることができる。</p> <p>【4】曲線の長さを求めることができる。</p> <p>【5】動点Pの道のりを求めることができる。</p>

年間指導計画

科目名	数学C	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	2回
使用教科書	東京書籍「数学C Standard」(数C 702)		
評価	レポート評価点及び提出日, 面接指導時の取り組む様子, 並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1章 ベクトル	
	1節 平面上のベクトル	<p>【1】平面上のベクトルの意味について、向きと大きさをもった量が有向線分で表されることを理解し、等しいベクトルや逆ベクトルについて把握することができる。</p> <p>【2】ベクトルの和, 差, 実数倍について理解し、実数の演算法則と関連付けて計算することができる。</p> <p>【3】平面上のベクトルが2つの実数の組で成分表示されることを理解し、成分表示を利用してベクトルの大きさを求めることや、条件を満たす単位ベクトルを成分表示することができる。</p> <p>【4】ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について理解し、それらの性質を用いてベクトルのなす角や大きさなどを求めることができる。</p>
No2 提出期限 7/31	1章 ベクトル	
	2節 ベクトルの応用	<p>【1】平面上の位置ベクトルについて理解し、内分点や外分点, ベクトルを用いた直線の方程式などを表すことができる。</p>
	3節 空間におけるベクトル	<p>【1】空間におけるベクトルの定義や平行条件, ベクトルの分解とその一意性につい</p>

		<p>て，平面上のベクトルの考えを空間に拡張できることを理解する。</p> <p>【2】空間座標の概念及びその意味や表し方を理解し，それらを用いて空間におけるベクトルを成分表示することができる。</p> <p>【3】空間のベクトルでも，平面のベクトルと同様に演算法則が成り立つことを理解し，空間のベクトルの加減や実数倍などの演算を行うことができる。</p> <p>【4】平面上のベクトルの内積の考えを空間に拡張して空間のベクトルの内積について理解し，空間のベクトルの内積や大きさを求めることができる。</p>
No3 提出期限 9/30	2章 平面上の曲線	
	1節 2次曲線	<p>【1】放物線，楕円，双曲線の定義とその方程式について，それらの曲線の基本的な性質を理解し，曲線の方程式や準線，焦点，漸近線などを求めることができる。</p> <p>【2】2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について，条件を満たす点の軌跡の考え方を用いて考察することができ，平行移動後の曲線の方程式を求めることができる。</p> <p>【3】2次曲線と直線の共有点について，2次方程式の実数解の考え方を用いて考察することができ，2次曲線と直線の共有点を求めたり，接線の方程式を求めたりすることができる。</p>
No4 提出期限 11/30	2章 平面上の曲線	
	2節 媒介変数表示と極座標	<p>【1】曲線の媒介変数表示について理解し，媒介変数表示された曲線の方程式を求めることができる。</p> <p>【2】極座標の意味や極方程式について理解し，図形を極方程式で表したり，極方程式が表す図形を判断したりすることができる。</p> <p>【3】直交座標と極座標の関係について理解し，直交座標で表された図形の方程式を極方程式で表すことや，その逆のことができる。</p>
No5 提出期限 12/31	3章 複素数平面	
	1節 複素数平面	<p>【1】複素数平面上の点が複素数を表していることを理解し平面上の任意の点を読み取り，複素数の実数倍や和と差が複素平面上でどのように表されるかを理解することができる。</p>

		<p>【2】複素数の極形式を理解し，$a + bi$の形の複素数を極形式で表すことができる。</p> <p>【3】ド・モアブルの定理について理解し，それを用いて複素数の累乗の計算をすることができる。</p>
	2節 図形への応用	<p>【1】偏角を用いることにより，複素数平面上の2直線がなす角の大きさを求めることができ，またそれにより，複素数平面上の三角形の形状を調べることができる。</p>
No6 提出期限 1/31	4章 数学的な表現の工夫	
	2節 行列に表す	<p>【1】行列やその加法と減法について理解し，計算することができる。</p> <p>【2】行列の乗法の性質について理解を深め，計算することができる。</p> <p>【3】行列の積を用いてベクトルの変化を観察し，原点を中心とする回転を表す行列について考察することができる。</p>

年間指導計画

科目名	物理基礎	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	8 回
使用教科書	東京書籍「新編物理基礎」(物基 702)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 編 物体の運動とエネルギー 1 章 直線運動の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解する。 ・物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解する。
No2 提出期限 7/31	2 章 力と運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> ・物体に様々な力が働くことを理解する。 ・物体に働く力のつり合いを理解する。 ・物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動との関係について理解する。
No3 提出期限 9/31	3 章 力学的エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解する。 ・力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解する。
No4 提出期限 11/31	2 編 さまざまな物理現象とエネルギー 1 章 熱	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から理解する。 ・熱の移動及び熱と仕事の変換について理解する。
No5 提出期限 12/31	2 章 波	<ul style="list-style-type: none"> ・波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解する。 ・気柱の共鳴と音源の振動数を関連付けて理解する。 ・弦の振動、音波の性質を理解する。
No6 提出期限 1/31	3 章 電気	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ物質からなる導体でも長さや断面積によって電気抵抗が異なることを理解する。 ・物質によって抵抗率が異なることを理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・発電, 送電及び電気の利用について, 基本的な仕組みを理解する。
	<p>4章 エネルギーとその利用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人類が利用可能な水力, 化石燃料, 原子力, 太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて, 物理学的な観点から理解する。 ・この科目で学んだ事柄が, 日常生活や社会を支えている科学技術と結び付いていることを理解する。

年間指導計画

科目名	物理	単位数	4 単位
添削指導枚数	12 枚	面接指導回数	16 回
使用教科書	東京書籍『物理』(物理 701)		
評価	レポート評価点及び提出日, 面接指導時の取り組む様子, 並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する技能を身に着けるようにする ・観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 ・物理的な事物・現象に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする技能を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 編 さまざまな運動	
	1 章 平面内の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・平面何を運動する物体の運動について理解する。 ・物体の平面内の運動を表す変位, 速度及び加速度はベクトルで表されることを扱う。
	2 章 剛体のつり合い	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさのある物体のつり合いに関する実験などを行い, 剛体のつり合う条件を見出して理解する。
No2 提出期限 6/30	1 編 さまざまな運動	
	3 章 運動量	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積との関係について理解する。 ・物体の衝突や分裂に関する実験などを行い, 運動量保存の法則を理解する。
	4 章 円運動	<ul style="list-style-type: none"> ・等速円運動の速度, 周期, 角速度, 向心加速度及び向心力を扱う。
No.3 提出期限 6/30	1 編 さまざまな運動	
	5 章 単振動	<ul style="list-style-type: none"> ・振り子に関する実験などを行い, 単振動の規則性を見いだして理解する。
	6 章 万有引力	<ul style="list-style-type: none"> ・惑星の観測資料に基づいて惑星の運動に関する法則, さらに万有引力の法則及び万有引力による物体の運動を理解する。
No.4 提出期限 7/30	1 編 さまざまな運動	
	7 章 気体分子の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化に関する実験などを行い, 熱, 仕事及び内部エネルギーの関係を理解する。

No.5 提出期限 7/30	2 編 波	
	1 章 波の伝わり方	・波について、観察、実験などを通して探求し、波の伝わり方、音、光における規則性や関係性を見出して表現する。
	2 章 音	・音の干渉と回折、ドップラー効果について理解する。
No.6 提出期限 9/30	2 編 波	
	3 章 光	・光の速さ、波長、反射、屈折、分散、偏光などを扱い、鏡やレンズの幾何光学的な性質について理解する。
No.7 提出期限 10/31	3 編 電気と磁気	
	1 章 電場と電位	・電気と電流、電流と磁界における規則性や関係性を理解する。
No.8 提出期限 10/31	3 編 電気と磁気	
	2 章 電流	・電気回路については、抵抗率の温度変化、電池などの内部抵抗、キルヒホッフの法則を扱う。
No.9 提出期限 11/30	3 編 電気と磁気	
	3 章 電流と磁場	・電流を作る磁界の様子、磁界から受ける力について理解する。
No.10 提出期限 11/30	3 編 電気と磁気	
	4 章 電磁誘導と電磁波	・磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係を見いだして理解する。 ・電磁波の性質とその利用を理解する。
No.11 提出期限 12/31	4 編 原子	
	1 章 電子と光	・電子の電荷と質量について理解する。 ・電子や光の粒子性と波動性について理解する。
No.12 提出期限 1/31	4 編 原子	
	2 章 原子と原子核	・原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位について理解する。 ・原子核の構成、原子核の崩壊及び核反応について理解する。

年間指導計画

科目名	生物基礎	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	8 回
使用教科書	東京書籍「新編生物基礎」(生基 702)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 編 生物の特徴	
	1 章 生物の多様性と共通性	・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもつことを見いだして理解する。
	2 章 生物とエネルギー	・生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・光合成や呼吸などの代謝と ATP を関連付けて理解する。
No2 提出期限 7/31	2 編 遺伝子とそのはたらき	
	1 章 遺伝情報と DNA	・DNA の構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としての DNA の特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性と DNA の複製を関連付けて理解する。
	2 章 遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。
No3 提出期限 9/30	3 編 ヒトの体の調節	
	1 章 ヒトの体を調節するしくみ	・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ・体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。

		・体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。
No4 提出期限 10/31	3 編 ヒトの体の調節 2 章 免疫のはたらき	・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。
No5 提出期限 12/31	4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解する。 ・植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。
No6 提出期限 1/31	4 編 生物の多様性と生態系 2 章 生態系と生物の多様性	・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解する。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。 ・生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。 ・生態系の保全の重要性を認識する。

年間指導計画

科目名	化学	単位数	4 単位
添削指導枚数	12 枚	面接指導回数	16 回
使用教科書	東京書籍「化学 Vol.1 理論編」(化学 701) 東京書籍「化学 Vol.2 物質編」(化学 702)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

- ・化学の基本的な概念や原理、法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・化学的な事物、現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 編 物質の状態	
	1 章 物質の状態	・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。 ・状態変化に伴うエネルギーの出入り及び状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解する。
	2 章 気体の性質	・気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。
No2 提出期限 6/30	3 章 溶液の性質	・溶液の仕組みを理解し、溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。 ・溶液とその性質に関する実験などを行い、身近な現象を通して溶媒と溶液の性質の違いを理解する。
	4 章 固体の構造	・結晶格子の概念及び結晶の構造を理解する。
No3 提出期限 6/30	2 編 化学反応とエネルギー	
	1 章 化学反応と熱・光	・化学反応と熱や光に関する実験などを行い、化学反応における熱及び光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。
No4 提出期限 7/31	2 章 電池と電気分解	・電気エネルギーを取り出す電池の仕組みを酸化還元反応と関連付けて理解する。 ・外部から加えた電気エネルギーによって電気分解が起こることを、酸化還元反応と関連付けて理解する。またその反応に関与した物質の変化量と電気量の関係を理解する。
No5 提出期限 7/31	3 編 化学反応の速さと平衡	
	1 章 化学反応の速さ	・反応速度の表し方及び反応速度に影響を与える要因を理解する。
No6	2 章 化学平衡	・可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。

提出期限 9/30	3章 水溶液中の平衡	・水のイオン積、pH 及び弱酸や弱塩基の電離平衡について理解する。
No 7 提出期限 10/31	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物	・典型元素に関する実験などを行い、典型元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解する。
No 8 提出期限 10/31	4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認	・遷移元素の単体と化合物の性質を理解する。
No 9 提出期限 11/30	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素	・脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連付けて理解する。
No 10 提出期限 11/30	3章 アルコールと関連化合物	・官能基をもつ脂肪族化合物に関する実験などを行い、その構造、性質及び反応について理解する。
No 11 提出期限 12/31	4章 芳香族化合物	・芳香族化合物の構造、性質及び反応について理解する。
No 12 提出期限 1/31	6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 7編 化学が果たす役割 1章 化学的性質の利用と工業的製法 2章 未来を創る化学	・高分子化合物の基本構造について理解する。 ・天然高分子化合物の構造や性質について理解する。 ・合成高分子化合物の構造、性質及び合成について理解する。 ・化学が果たしてきた役割として、無機物質、有機化合物及び高分子化合物がそれぞれの特徴を生かして人間生活のなかで利用されていることを理解する。 ・化学の成果が様々な分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。

年間指導計画

科目名	生物基礎	単位数	2 単位
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	8 回
使用教科書	東京書籍「新編生物基礎」(生基 702)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 編 生物の特徴	
	1 章 生物の多様性と共通性	・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもつことを見いだして理解する。
	2 章 生物とエネルギー	・生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・光合成や呼吸などの代謝と ATP を関連付けて理解する。
No2 提出期限 7/31	2 編 遺伝子とそのはたらき	
	1 章 遺伝情報と DNA	・DNA の構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質としての DNA の特徴を見いだして理解するとともに、塩基の相補性と DNA の複製を関連付けて理解する。
	2 章 遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。
No3 提出期限 9/30	3 編 ヒトの体の調節	
	1 章 ヒトの体を調節するしくみ	・体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 ・体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。

		・体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。
No4 提出期限 10/31	3 編 ヒトの体の調節 2 章 免疫のはたらき	・免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。
No5 提出期限 12/31	4 編 生物の多様性と生態系 1 章 植生と遷移	・植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移の要因を見いだして理解する。 ・植生の遷移をバイオームと関連付けて理解する。
No6 提出期限 1/31	4 編 生物の多様性と生態系 2 章 生態系と生物の多様性	・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解する。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とを関連付けて理解する。 ・生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。 ・生態系の保全の重要性を認識する。

年間指導計画

科目名	生物	単位数	4 単位
添削指導枚数	12 枚	面接指導回数	16 回
使用教科書	東京書籍「新編生物基礎」(生基 702)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 編 生物の進化	
	1 章 生命の起源と細胞の進化	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の起源と細胞の進化に関する資料に基づいて、生命の起源に関する考えを理解する。 ・細胞の進化を地球環境の変化と関連付けて理解する。
	2 章 遺伝子の変化と進化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の変化に関する資料に基づいて、突然変異と生物の形質の変化との関係を見いだして理解する。
No2 提出期限 6/30	2 章 遺伝子の変化と進化のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・交配実験の結果などの資料に基づいて、遺伝子の組合せが変化することを見いだして理解する。 ・進化の仕組みに関する観察、実験などを行い、遺伝子頻度が変化する要因を見いだして理解する。
No3 提出期限 6/30	3 章 生物の系統と進化	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の遺伝情報に関する資料に基づいて、生物の系統と塩基配列やアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。 ・霊長類に関する資料に基づいて、人類の系統と進化を形態的特徴などと関連付けて理解する。
No4 提出期限 7/31	2 編 生命現象と物質	
	1 章 細胞と物質	<ul style="list-style-type: none"> ・生体物質と細胞に関する資料に基づいて、細胞を構成する物質を細胞の機能と関連付けて理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・生命現象とタンパク質に関する観察、実験などを行い、タンパク質の機能を生命現象と関連付けて理解する。
No5 提出期限 7/31	2章 代謝とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸に関する資料に基づいて、呼吸をエネルギーの流れと関連付けて理解する。 ・光合成に関する資料に基づいて、光合成をエネルギーの流れと関連付けて理解する。
No6 提出期限 9/30	3編 遺伝情報の発現と発生	
	1章 遺伝情報とその発現	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの複製に関する資料に基づいて、DNAの複製の仕組みを理解する。 ・遺伝子発現に関する資料に基づいて、遺伝子の発現の仕組みを理解する。
No7 提出期限 10/31	2章 発生と遺伝子発現	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の発現調節に関する資料に基づいて、遺伝子の発現が調節されていることを見いだして理解する。 ・転写の調節をそれに関わるタンパク質と関連付けて理解する。 ・発生に関わる遺伝子の発現に関する資料に基づいて、発生の過程における分化を遺伝子発現の調節と関連付けて理解する。
No8 提出期限 10/31	3章 遺伝子を扱う技術	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解する。
No9 提出期限 11/30	4編 生物の環境応答	
	1章 動物の刺激の受容と反応	<ul style="list-style-type: none"> ・刺激の受容と反応に関する資料に基づいて、外界の刺激を受容し神経系を介して反応する仕組みを、関与する細胞の特性と関連付けて理解する。
	2章 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> ・動物の行動に関する資料に基づいて、行動を神経系の働きと関連付けて理解する。
No10 提出期限 11/30	3章 植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の環境応答に関する観察、実験などを行い、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解する。
No11 提出期限 12/31	5編 生態と環境	
	1章 個体群と生物群集	<ul style="list-style-type: none"> ・個体群内の相互作用に関する観察、実験などを行い、個体群が維持される仕組みや個体間の関係性を見いだして理解する。 ・個体群間の相互作用に関する資料に基づいて、生物群集が維持される仕組みや個体群間の関係性を見いだして理解する。

No12 提出期限 1/31	2章 生態系の物質生産と物質循環	・生態系の物質生産と物質循環に関する資料に基づいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連付けて理解する。
	3章 生態系と人間生活	・生態系と人間生活に関する資料に基づいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。

年間指導計画

科目名	保健 I	単位数	1
添削指導枚数	3	面接指導回数	1回
使用教科書	大修館『現代高等保健体育』		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

○現代社会と健康について理解を深めること。

(ア) 健康の考え方

国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。

健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。

(イ) 現代の感染症とその予防

感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。

(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康

喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。

(オ) 精神疾患の予防と回復

精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であること。

○現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 単元 現代社会と健康	
	01 健康の考え方と成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。
	02 私たちの健康のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の健康水準の変化とその背景について説明できる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。
No2 提出期限 9/30	12 精神疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 ・現代社会における精神保健の課題をあげることができる。
	13 精神疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患を予防する方法について説明できる。 ・精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。
	14 精神疾患からの回復	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 ・精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。
No3 提出期限 12/31	18 健康に関する意思決定・行動選択	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定、行動選択に影響を与える要因について説明できる。 ・健康に関する適切な意思決定、行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。
	19 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 ・ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。

年間指導計画

科目名	保健Ⅱ	単位数	1
添削指導枚数	3	面接指導回数	1回
使用教科書	大修館『現代高等保健体育』		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>2 単元</p> <p>安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>○安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすること。</p> <p>(ア) 安全な社会づくり</p> <p>安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。</p> <p>また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。</p> <p>(イ) 応急手当</p> <p>適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。</p> <p>また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うこと。</p> <p>○安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。</p> <p>(3) 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>3 単元</p> <p>○生涯を通じる健康について理解を深めること。</p> <p>(ア) 生涯の各段階における健康</p> <p>生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。</p> <p>(イ) 労働と健康</p> <p>労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。</p> <p>○生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。</p>

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1	2 単元 安全な社会生活	
提出期限 5/31	01 事故の現状と発生要因	・事故の実態と被害の実態について説明できる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・事故の発生には、人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。
	02 安全な社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。
	03 交通における安全	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 ・交通事故における責任を3つに分けて説明できる。
No2 提出期限 9/30	3単元 生涯を通じる健康	
	01 ライフステージと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげる事ができる。
	02 思春期と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。
	03 性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・性意識の男女差について例をあげて説明することができる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。
No3 提出期限 12/31	04 妊娠・出産と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠、出産の過程における健康課題について説明できる。 ・妊娠、出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。
	05 避妊法と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。

年間指導計画

科目名	体育 I	単位数	3
添削指導枚数	3	面接指導回数	15 回
使用教科書	大修館『現代高等保健体育』		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する事。</p> <p>(ア) スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p> <p>(イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。</p> <p>また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。</p> <p>(ウ) 現代のスポーツは、経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また、スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ、スポーツの高潔さなどが一層求められること。</p> <p>(エ) スポーツを行う際は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し、多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められること。</p>
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 6/30	1 単元 スポーツの発祥と発展	
	01 スポーツの始まりと変遷	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツがどのように始まったのかを説明できる。 ・なぜスポーツが世界中に広まったのかを説明できる。
	02 文化としてのスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴を説明できる。 ・多様なかわり方によるスポーツ文化の変容について例をあげて説明できる。
No2 提出期限 10/31	03 オリンピックとパラリンピックの意義	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックとパラリンピックの価値について説明できる。 ・パラリンピックの価値について具体例をあげながら、パラリンピックの意義について説明できる。
	04 スポーツが経済に及ぼす効果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 ・スポーツにかかわる業種について例をあげて説明できる。

No3 提出期限 12/31	05 スポーツの高潔さとドーピング	<ul style="list-style-type: none">・スポーツの高潔さを脅かす要因について例をあげて説明できる。・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。
	06 スポーツと環境	<ul style="list-style-type: none">・スポーツにおける環境問題について例をあげて説明できる。・スポーツは環境とどのように調和していけばよいのか説明できる。

年間指導計画

科目名	体育Ⅱ	単位数	2
添削指導枚数	2	面接指導回数	10回
使用教科書	大修館『現代高等保健体育』		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。

(ア) 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること。

(イ) 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていること。

(ウ) 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかること。

(エ) 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 6/30	2単元 運動・スポーツの学び方	
	01 スポーツにおける技能と体力	・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点を挙げる事ができる。
	02 スポーツにおける技術と戦術	・技能の型の違いやそれぞれの練習の仕方を説明できる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を説明できる。
	03 技能の上達過程と練習	・技能がどのようなステップを経て上達するか説明できる。 ・練習によって技能が上達すると、どのような特徴がみられるかをあげることができる。
No1 提出期限 10/31	04 効果的な動きのメカニズム	・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか説明できる。 ・良い動きを支える調整力について例をあげて説明できる。
	05 体カトレーニング	・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を説明できる。

		<ul style="list-style-type: none">・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。
	06 運動やスポーツでの安全の確保	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを説明できる。・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる。

年間指導計画

科目名	体育Ⅲ	単位数	2
添削指導枚数	2	面接指導回数	10回
使用教科書	大修館『現代高等保健体育』		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<p>豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解すること。</p> <p>(ア) スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化すること。</p> <p>(イ) 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であること。</p> <p>(ウ) スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていること。</p> <p>(エ) 人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められること。</p>
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 6/30	3単元 豊かなスポーツライフの設計	
	01 生涯スポーツの見方・考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを説明できる。 ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を説明できる。
	02 ライフスタイルに応じたスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげて説明できる。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例をあげられる。
No2 提出期限 10/31	03 スポーツを推進する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを説明できる。 ・自分が住んでいる身近な地域におけるスポーツ推進の取り組みについて例をあげられる。
	04 豊かなスポーツライフの創造	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでとこれからのスポーツライフの違いを説明できる。 ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について例をあげて説明できる。

年間指導計画

科目名	書道 I	単位数	
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	4 回
使用教科書	光村書店「書 I」(2023. 2. 5 発行)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

<ul style="list-style-type: none"> ・書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書 10 書道 I の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 ・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	書写から書道へ	・書写と書道の教科的特徴ちがいについて理解する。
	1 漢字の書	
	2 文字の造形を学ぶ<楷書>	<ul style="list-style-type: none"> ・唐の四大家について理解する。 ・同じ書体であっても、筆者の美意識、時代、風土等の影響により多様な書風が生まれることを知る。 ・古典の書体、用筆・運筆及びそこに見られる線質、字形、構成のちがいを味わう。
No2 提出期限 7/31	1 漢字の書	
	1 漢字の変遷とさまざまな書体	・中学校国語科の書写で学習した楷書及び行書を踏まえた上で、古典の書体や書風に即した用筆・運筆、表現のちがいを理解し味わう。
No3 提出期限 9/30	1 漢字の書	
	2 文字の造形を学ぶ<行書>	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の成立、特徴について理解する。 ・王羲之について理解する。 ・行書の名品の特徴を知り、それぞれの書のよさや美しさを味わう。 ・三筆、三跡から、日本や中国等における文字と書の伝統と文化の広がりや、我が国が

		中国の書を受容しつつ、独自の書の伝統と文化を形成し発展させたことについて理解する。
No4 提出期限 11/30	1 漢字の書	
	2 文字の造形を学ぶ<草書/隸書/篆書>	<ul style="list-style-type: none"> ・草書の成立、特徴について理解する。 ・隸書の成立、特徴について理解する。 ・篆書の成立、特徴について理解する。 ・各古典の書体や書風を生み出している基本的な用筆・運筆による表現効果を理解し、「漢字の書」の多様な美に対する感性を養う。
	生活の中の書	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会において、書がどのような役割を果たし、影響を及ぼしてきたかを理解する。
No5 提出期限 12/31	2 仮名の書	
	1 仮名の成立と種類	<ul style="list-style-type: none"> ・各字の成り立ちや字源を理解する。
	2 文字の造形を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・「仮名の書」の線の美(端正で優美な筆跡)を味わう。 ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現について理解する。
	3 構成を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・詞書や歌などを規則正しく配列した「行書き」について理解する。 ・行の長短や詞書の高低、行間の余白を生かした「散らし書き」について理解する。 ・直感的鑑賞から分析的鑑賞につなげ、作品のよさや美しさを探求し、捉える。
No6 提出期限 1/31	3 漢字仮名交じりの書	
	1 漢字仮名交じりの書とは	<ul style="list-style-type: none"> ・名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりを味わう。
	2 創作する	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性にも価値があることを理解する。 ・書に関する著作権などの知的財産権について理解する。
	生活の中の書	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面における目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付け、それを活用して効果的に表現する力を養う。

年間指導計画

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	3単位
添削指導枚数	9枚	面接指導回数	12回
使用教科書	東京書籍「All Abroad English Communication I」		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

聞くこと・・・日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。
 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

読むこと・・・ 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

話すこと【やりとり】・・・ 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする

話すこと【発表】・・・ 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。
 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

書くこと・・・ 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。
 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	warm-up	教室で使う表現を学ぶ。
	pre-lesson	一般動詞で使う表現を学ぶ。
No2 提出期限 6/30	Lesson1	
	私の朝ごはん	好きな食べ物について、英語で述べるができる。
No3 提出期限 7/31	Lesson2	
	人懐っこい野生動物	好きな動物について、英語で述べるができる。
No4 提出期限 9/30	Lesson3	
	笑顔を運ぶ列車	ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べるができる。
No5 提出期限 10/31	Lesson4	
	夢のような絶景	行ってみたい場所について、英語で述べるができる。

No6 提出期限 10/31	Lesson5	
	長浜高校水族館部	将来の夢について、述べることができる。
	Extra Target	知覚動詞の使い方を学ぶ。
No7 提出期限 11/30	Lesson6	
	奇想天外な浮世絵師	好きな絵について、英語で述べるができる。
No8 提出期限 12/31	Lesson7	
	アンネ・フランク	関心のある人物について、英語で説明することができる。
No9 提出期限 1/31	Lesson8	
	ロボットカフェ	人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。

年間指導計画

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位
添削指導枚数	12枚	面接指導回数	16回
使用教科書	東京書籍「All Aboard! English CommunicationⅡ」		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題や社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。 ・ 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。 ・ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。 ・ 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 ・ 日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。 ・ 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。 ・ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	Pre-Lesson, Lesson1	
	今年やってみたいこと	want to~を使って自分のしたいことを伝える表現を身につける。
	ブラーノ島（関係代名詞）	海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。
No2 提出期限 6/30	Lesson2	
	サムのリクエスト（比較表現）	世代を超えて人気のある人物について、英語で述べることができる。
No3 提出期限 6/30	Lesson3	
	ワイルドマンの世界（itの用法）	身近な行事について、英語で表現することができる。
No4 提出期限	Lesson4	
	ハチドリのお話（間接疑問文）	自分の好きな物語を英語で紹介することができる。

7/31		
No5 提出期限 7/31	Lesson5 歌舞伎メイクの物語 (to不定詞を含む表現)	日本の伝統文化について英語で説明することができる。
No6 提出期限 9/30	Rading1 Mujina	登場人物の気持ちになって暗唱してみよう。
No7 提出期限 10/31	Lesson6 伝統野菜を未来につなぐ (動詞の目的語になるif説)	地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。
No8 提出期限 10/31	Lesson7 アートで世界をつなぐ (関係副詞)	世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。
No9 提出期限 11/30	Lesson8 自然のデザインに学ぶ (知覚動詞)	自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。
No10 提出期限 12/31	Lesson9 甘いチョコレート之苦い現実 (使役動詞)	社会的な問題について、英語で意見を述べるすることができる。
No11 提出期限 12/31	Lesson10 ナイチンゲール (分詞構文)	人を助ける職業について、英語で説明することができる。
No12 提出期限 1/31	Rading2 Bear's Pie	物語の結末を考え、朗読劇を演じてみよう。

年間指導計画

科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4 単位
添削指導枚数	1 2 枚	面接指導回数	1 6 回
使用教科書	東京書籍「All Aboard! English Communication III」		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

◎聞くこと・・・日常的话题について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。

社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、話の展開に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

◎読むこと・・・日常的话题について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。

社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。

◎話すこと【やり取り】・・・日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させることができるようにする。

社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、話題の解決策などを論理的に詳しく話して伝え合うことができるようにする。

◎話すこと【発表】・・・日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。

社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に詳しく話して伝えることができるようにする。

◎書くこと・・・日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の段落から成る文章で論理的に詳しく書いて伝えることができるようにする。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1	Lesson 1 Gifts to Barcelona	
提出期限 5/31	ジャンル 人物、芸術 学習する文法 to 不定詞/動名詞	建築物について英語で紹介することができる。
No2	Lesson 2 Akkamui	
提出期限 6/30	ジャンル 動物、文化 学習する文法 現在完了形	生き物の特徴について、英語で説明することができる。
No3	Lesson 3 Your True Colors	
提出期限 6/30	ジャンル ジェンダー、社会 学習する文法 使役動詞	ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。
No4	Lesson 4 Our Future Food?	
提出期限 7/31	ジャンル 食、未来 学習する文法 受動態	食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。
No5	Lesson 5 Madagascar	
提出期限 7/31	ジャンル 環境、異文化 学習する文法 関係代名詞	地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。
No6	Extra Target 1 英文法	
提出期限 9/30	学習する文法 過去完了進行形	ある動作がずっと継続していたことを過去完了進行形を用いて説明する。
No7	Lesson 6 The Mystery of the Terracotta Warriors	
提出期限 10/31	ジャンル 歴史、考古学 学習する文法 関係代名詞の非制限用法	訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。
No8	Lesson 7 Green Challenges	
提出期限 10/31	ジャンル 環境、エネルギー 学習する文法 比較表現	再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。
No9	Lesson 8 Witnesses of War	
提出期限 11/30	ジャンル 戦争、平和 学習する文法 分詞	経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。
No10	Lesson 9 The Wonders of Lightning	
提出期限 12/31	ジャンル 自然科学、環境 学習する文法 仮定法過去	電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。
No11	Lesson 10 Katherine's Long Journey	
提出期限 12/31	ジャンル 人物、人権、宇宙 学習する文法 関係代名詞 whose	社会に影響を与えた人物について、英語でエッセイを書くことができる。
No12	Reading 2 Table for Two	
提出期限 1/31	物語の読解、音読	各場面の状況や登場人物の心情を考えたり想像したりしながら音読する。

年間指導計画

科目名	論理・表現 I	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	8回
使用教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression I」		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標 **高等学校学習指導要領に記載されている目標を記載**

<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにする。 ・日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにする。 ・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 ・日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにする。 ・日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。 ・日常的な話題や社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができるようにする。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	Unit1 Lesson1,2	
	初めての食事	料理を褒める、勧める、断る表現を身につける。
	道に迷う	相手に提案する、依頼する、道を説明する表現を簡潔に相手に伝えるようにする。
No2 提出期限 7/31	Unit1 Lesson4,5	
	体調が悪い	体調を伝えたり、尋ねたりする表現を身につける。
	買い物	買い物の際に、描写をしたり、相づちを打ったりできるようにする。
No3 提出期限 9/30	Unit1 Lesson7,8	
	イベントに誘われる	誘う、誘いを受けたり、断ったりする表現を身につける。
	スクールカウンセラーに相談	状況を説明する、手助けを申し出る、助言や提案、お礼や感謝を伝える表現を身につける。
No4 提出期限 11/30	Unit1 Lesson10,11	
	待ち合わせに遅刻	相手に謝る、相手を許す、相手を励ます表現を身につける。
	家庭でのディスカッション	共感や残念な気持ち、解決策を提案するなど、家庭内での会話を英語でできるようにする。
No5 提出期限 12/31	Unit2 Lesson1,2,3,4	
	クラスでディベート①②	ディベートの流れを知り、理由や例を英語で述べられるようにする。
	経験談のスピーチ	できごとを生き生きと描写し、自身の経験からアドバイスをできるようにする。
No6 提出期限	Unit2 Lesson5,6,7,8	
	日本をPR	事実と意見を区別して述べられるようになる。

1/31		文化や習慣を説明できるようにする。
	物事の両面を伝える	利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変える表現を身につける。

英語検定初級	単位数	2単位
--------	-----	-----

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1. 語彙力を高め時制による変化や派生語など幅広く理解する。
	2. 基礎的な英文法を理解し適切に運用ができるようになる。
	3. 意味のつながりを意識しながら適切に文を読むことができる。
	4. 文全体の大意を理解し適切な回答を導くことができるようになる。
使用教科書・副教材等	旺文社 7日間完成 英検3級予想問題ドリル

2 学習計画及び評価方法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1 学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連等	レポート範囲	評価の観点のポイント			
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
第1学期	挨拶文・疑問文	5 ～ 6	基本的な会話表現を身に着ける。 文の構造を理解する。 be動詞と一般動詞の違いを確認。 平叙文・否定文・疑問文の確認。 省略形の理解。	単語だけではなく、群動詞や句動詞などの組み合わせによって新しい意味を作る熟語の存在を把握する。 英文は、主語と動詞があって成り立つということを確認する。 それぞれが、be動詞と一般動詞を使用した際に形が変化することも併せて確認しておく。 don't や doesn'tなどの省略形を適切に使いこなせるようになる。	レポートNo.1	○	○	○	○
	疑問詞・前置詞・過去形	7	5W1Hを適切に使用できるようになる。 前置詞の使用の仕方と役割を理解する。 動詞の現在形と、原形、過去形の理解。	発音指導の際に、5W1Hを用いた疑問文は、これまで学習してきたYes / No 疑問文とは異なり、語尾が上り調子とはならないことを伝える。 動詞に前置詞を伴うことによって表現の幅を広げることができることを伝える。 一般動詞は時制が過去になることで形が変わること、形の変化を伝えると同時にedの発音の違いについても確認しておく。	レポートNo.2	○	○	○	○
第2学期	疑問文・命令文	9 ～ 10	並び替え問題を通して、疑問文の文構造を理解する。 並び替え問題を通して、命令文の文構造を理解する。	doとdoesの適切な使い分けと三人称単数の確認。 動詞が文頭に来ることで命令をする文となる。またDon'tを文頭に置くことで禁止の文となる。	レポートNo.3	○	○	○	○
	助動詞・疑問文・進行形	11	助動詞の種類と意味、後続の動詞の形を理解する。 助動詞を用いた疑問文の作り方を理解する。 現在進行形の理解。 現在進行形の形と役割を把握して、適切に文を作れるようになる。	助動詞の意味に加え、助動詞には動詞の原形が後続することを伝える。 助動詞を文中のどこ置くのか、また not を伴った際の省略形も併せて定着させる。 進行形=ingとの印象が強いが、必ずbe動詞を伴って英文が作成されることこの理解。また、文末にnowが置かれることが多いことを伝える。	レポートNo.4	○	○	○	○
	長文読解・比較	12	長文の内容を理解して適切に問題に答える。文中の空白を前後から予測し適語を入れる。 比較級の適切な運用を覚える。	漠然と文を読んでいくのではなく、事前に問題文を読んでから読み取るべき内容を確認しておく。 比較の英文では、形容詞にerやestを付けるだけではなく、3音節以上の長い単語を比較級・最上級にする際は、moreやmostを表現することを確認する。	レポートNo.5	○	○	○	○

第3学期	対話文・長文読解	1	長文の内容を理解して適切に問題に答える。文中の空白を前後から予測し適語を入れる。 対話文を読んで適切な回答を選択する。	まず本文を読み始めるのではなく、事前に設問を確認してから読み取るべき内容を確認しておく。 会話からその後の出来事や状況を想像しながら読んでいく必要性を伝える。	レ ポ ー ト N o . 6	○	○		○
						○	○		○
評価方法									
<p>【関心、意欲、態度】 行動観察や提出物、及び質問紙調査などを手がかりに、以下の点に留意して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に積極的に参加したか。 ・提出物の作成(レポートや授業ノートなど)に意欲的に取り組んだか。 ・集中して授業を受けたか。 <p>【思考・判断・表現】 行動観察や提出物、及び定期考査の論述問題などを手がかりに、以下の点に留意して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考の「過程」を評価する。間違いがあっても正しい結論に至らなかったとしても、その思考過程が物理学的に正しく、きちんと判断もできていれば十分な評価を与えたい。 <p>【観察・実験の技能】 行動観察や提出物、及びパフォーマンステストなどを手がかりに、以下の点に留意して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法事項など文の形に注目して適切に意味を把握することができたか。 ・それぞれの語句や文法の意味を理解して、正確に運用できたか。 									

年間指導計画

科目名	英語検定中級	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	8回
使用教科書	旺文社 7日間完成 英検準2級予想問題ドリル		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を高め時制による変化や派生語など幅広く理解する ・基礎的な英文法を理解し適切に運用ができるようになる ・意味のつながりを意識しながら適切に文を読むことができる。 ・文全体の大意を理解し適切な回答を導くことができるようになる。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	空欄補充（単語）	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定合格に必須な単語を、実際の文ではどのように使われていくのかを確認する。 ・文全体の意味を理解することで、分からない単語がある際にも推測する習慣をつけさせる。
	単語1問1答	<ul style="list-style-type: none"> ・英単語を見て、日本語訳を選択肢の中から答える活動。 ・英検3級でよく出題される単語を扱うため、英単語と日本語訳を対応させ、確実な語彙力向上に繋げる。
No2 提出期限 6/30	空欄補充（単語）	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定合格に必須な単語を、実際の文ではどのように使われていくのかを確認する。 ・文全体の意味を理解することで、分からない単語がある際にも推測する習慣をつけさせる。
	熟語1問1答	<ul style="list-style-type: none"> ・英熟語を見て、日本語訳を選択肢の中から答える活動。 ・英検3級でよく出題される熟語を扱うため、英熟語と日本語訳を対応させ、確実な語彙力向上に繋げる。
No3 提出期限 9/30	空欄補充（単語）	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定合格に必須な単語を、実際の文ではどのように使われていくのかを確認する。 ・文全体の意味を理解することで、分からない単語がある際にも推測する習慣をつけさせる。
No4 提出期限 10/31	整序作文	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく英文を組み立てる活動。本番に必ず出る問題形式である。 ・正しく英文をアウトプットするには、語彙力に加え、文法を理解することが重要であることに気付かせ、文法への理解を深めさせる。
No5 提出期限	会話表現	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の流れをもとに正しい会話表現を選ぶ活動。 ・答えの部分だけではなく、英会話で頻繁に使用される表

11/30		現にも目を向けさせる。
No6 提出期限 1/31	長文読解	<ul style="list-style-type: none">・3つの異なる形式の長文を理解する活動。・長文の種類や求められている解答に応じて、読み方を工夫させる。

年間指導計画

科目名	英語検定上級	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	8回
使用教科書	旺文社 7日間完成 英検2級予想問題ドリル		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力を高め、時制による変化や派生語など幅広く理解する ・基礎的な英文法を理解し、適切に運用ができるようになる ・意味のつながりを意識しながら適切に文を読むことができる ・文全体の大意を理解し、適切な回答を導くことができるようになる
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	動詞・時制・態・仮定法	英検の問題には①単語・熟語を問う問題②文法知識を問う問題③品詞を問う問題④全文を理解してから適切な単語などを選ばせる問題がある。問題を間違えた時に、どういったことを問う問題だったのか、何が原因で間違えたのかを適切に把握して改善していくことが上達につながることを生徒に理解させる。
		英文の中に必ずヒントとなる時制を表す単語や、意味上から受動態であると推測できる単語がある。文全体を見て答えを導き出すように習慣づけをしていく。
		仮定法は中学では習わない内容で、高校からの学習になっている。Ifを中心に文が出来上がるが、動詞が過去形になったり、助動詞が過去形になったりするので、きちんと形を押さえておくように指導する。
No2 提出期限 6/30	助動詞	must have pp、cannot have ppなどの基本的なことを理解するだけでなく、must not と don't have to の違いを区別して覚える。
		should が ought to で言い換えができる様に助動詞を他の表現で言い換えることができる。それぞれの運用の仕方を理解するとともに表現の幅を広げていく。
No3 提出期限 9/30	不定詞・動名詞・分詞	動名詞を取る動詞が限られているので、そちらを暗記していく。
		知覚動詞は五感に関する動詞であること・使役動詞は make, let, have の三種類であることを理解する。現在分詞では「～している」という能動の意味になるのに対して、過去分詞は「～されている」という受け身の意味

		になる。文中で分詞を選択する際には「する」「される」の関係を適切に見分けて解答をする。
No4 提出期限 10/31	関係詞・前置詞・接続詞	先行詞から適切な関係詞を選択できるようになることはもちろん、文脈から適切な複合関係詞を選択できるようになること。 前置詞を用いた熟語を押さえる。また、前置詞の後ろには代名詞、名詞が来ることの理解をする。
No5 提出期限 11/30	形容詞・副詞・比較	a few, a little, many, much など加算、不可算によって使用する場面が違うことを理解しておく。基本的な形だけでなく、any other や much を使った強調、倍数表現など多様な表現が出てきており、それぞれ形が決まっているため、適切に覚えていく。 また much, many は可算名詞、不可算名詞によって使い分けが生じることも理解するように伝える。
No6 提出期限 1/31	名詞・代名詞・冠詞	the other, others, another などに代表される代名詞の問題を解く中で、それぞれの表現を覚え分ける。 漠然と長文問題を読むのではなく、必要とされている情報を意識しながら情報を読んでいく。

年間指導計画

科目名	家庭基礎	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	4回
使用教科書	東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」(家基701)		
評価	レポート評価点及び提出日,面接指導時の取り組む様子,並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

- 生活を科学的に理解し,自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。
- 家族・家庭や社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し,その解決のために,生活を科学的に探究し,生涯を見通して生活を創造している。
- 自立した生活者に必要な知識・技能を身に付け,地域社会に参画し,共に支え合う社会の実現に向けて,家庭や地域の生活を創造し,主体的に実践しようとしている。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	【家族・社会との共生】 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる	○生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 ○自立の種類と内容を理解する。 ○人口減少時代が到来していることを理解し,これからの時代をどう生きていくかを考える。 ○家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解し,社会制度としての家族や家族について考える。 ○職業労働と家事労働の違いを理解し,見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることと意識する。
No2 提出期限 6/30	【家族・社会との共生】 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	○命に対する責任や,社会の一員として次世代を育む責任を持つために,性と生殖に関する健康について理解する。 ○子どもの発達過程について理解する。 ○超高齢社会の背景を知ったうえで,高齢者が生きがいを持って生活するためには,家族や地域によるどのような支援が必要か理解する。
No3 提出期限 9/30	【家族・社会との共生】 第5章 共に生き,共に支える 【生活の自立】 第6章 食生活をつくる	○誰もが生涯を通して自分の力を生かし,必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて,家族・家庭生活を支える福祉について理解する。 ○よりよい食習慣を身につけ,生涯を健康に過ごすために,食生活の課題や食事の意義,食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。

<p>No4 提出期限 10/31</p>	<p>【生活の自立】 第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる</p>	<p>○郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。また、世界の食文化にも関心を持ち、私たちの食生活への影響に気づく。 ○人間が被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。また、用途に合った着装を实践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。</p>
<p>No5 提出期限 11/30</p>	<p>【生活の自立】 第8章 住生活をつくる</p>	<p>○防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深める。 ○日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。 ○持続可能な住宅や、自助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。</p>
<p>No6 提出期限 1/31</p>	<p>【生活の自立】 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 【生活の創造】 第11章 これからの生活を創造する</p>	<p>○自立した消費者として適切に意思決定を行う。 ○生涯を見通して経済生活をマネジメントする力を身につける。 ○持続可能な社会の構築に向け、毎日の生活でできることを取り組むことができる。 ○人生の目標設定を達成し、自分らしい生活が実現できるよう生活設計をすることができる。 ○これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて行動できる。</p>

年間指導計画

科目名	情報 I	単位数	2
添削指導枚数	6 枚	面接指導回数	2 回
使用教科書	東京書籍「新編情報 I」(情 I 7 0 1)		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、並びに定期試験結果を総合して判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
--

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	1 章 情報で問題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報やメディアの特性を理解する。 ・問題解決のプロセスを理解する。 ・発想法に共通する基本的な考え方を理解する。 ・インターネットを利用する際に守るべき決まり事について理解する。 ・著作権では、どのようなものを保護しているか理解する。 ・身の回りの情報技術の活用場面を理解する。 ・情報化の進展による生活の変化について理解する。 ・よりよい情報社会を築くための情報環境について理解する。

<p>No2 提出期限 7/31</p>	<p>2章 情報を伝える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の変化について理解する。 ・ネットコミュニケーションの特徴を理解する。 ・デジタルとアナログの違いを理解する。 ・数値のデジタル化の方法を理解する。 ・音と画像のデジタル化の方法を理解する。 ・色と動画のデジタル化の方法を理解する。 ・情報を圧縮する方法を理解する。 ・情報デザインの方法を理解する。 ・ユニバーサルデザインとは何かを理解する。 ・デザイン思考の流れについて理解する。
<p>No3 提出期限 9/30</p>	<p>3章 コンピュータを活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組みを理解する。 ・ソフトウェアの働きを理解する。 ・論理回路について理解する。 ・アルゴリズムを表現する方法を理解する。 ・プログラムの順次構造を理解する。 ・分岐構造や反復構造を理解する。 ・配列やリストを用いたプログラムを理解する。 ・乱数や関数を用いたプログラムを理解する。 ・モデル化の技能を身につける。 ・シミュレーションをする技能を身につける。
<p>No4 提出期限 10/31</p>	<p>4章 データを活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット接続について理解する。 ・インターネットの接続の仕組みについて理解する。 ・サーバとクライアントの意味と役割を理解する。 ・インターネット上のサービスの仕組みを理解する。 ・情報セキュリティの技術について理解する。 ・データの形式について理解する。 ・データベースがどのように活用されているか理解する。 ・データモデルを理解する。 ・データを収集して可視化する技能を身につける。 ・データ分析の際に注意することを理解する。

<p>No5 提出期限 11/30</p>	<p>5章 活動して提案する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミングで意見を出す技能を身につける。 ・情報を検索する技能を身につける。 ・プレゼンテーションソフトウェアを活用する技能を身につける。 ・ルールをポスターにまとめて制作する技能を身につける。 ・人によって情報の受け取り方が違うことを理解する。 ・ディスプレイと印刷物の色の表現の違いを理解する。 ・画像と文字コードのデータ量の違いを理解する。 ・プレゼンテーションソフトウェアを使ってピクトグラムを制作する技能を身につける。 ・情報を可視化するために文書処理ソフトウェアを活用する技能を身につける。 ・Web ページの構造を理解する。 ・絵コンテに基づいて映像作品を制作する技能を身につける。 ・プログラムを作る技能を身につける。 ・シミュレーションの手順を理解する。 ・WebAPI から自分の使いたいデータを取り出す技能を身につける。 ・パケット通信の仕組みを理解する。 ・データの抜き出しや並べ替えをする技能を身につける。 ・データベースで大量のデータを操作する技能を身につける。 ・アンケート結果を集計して発表する技能を身につける。
<p>No6 提出期限 1/31</p>	<p>巻末</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的なコミュニケーションの実現, コンピュータやデータの活用について理解し, 技能を身につけるとともに, 情報社会と人との関わりについて理解する。 ・文書処理ソフトウェア ・表計算ソフトウェア ・プレゼンテーションソフトウェア ・問題解決のツール ・電子メール ・色彩 ・文字 ・情報に関連する法律

		<ul style="list-style-type: none">・ファイル形式・Web ページの構造・情報の発展に貢献した人物・2 進法の計算・主なプログラミング言語
--	--	---

年間指導計画

科目名	パソコン検定初級	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	2回
使用教科書	なし		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、面接指導時提出課題を総合して判断する。		

1. 学習の目標

・IT を利活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、IT に関する基礎的な知識を身に着けるようにする。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	ワープロソフト	・Google ドキュメントを基準に、ワープロソフトの基本的な機能や操作を理解する。
No2 提出期限 6/30	表計算ソフト	・Google スプレッドシートを基準に、表計算ソフトの基本的な機能や、操作を理解する。
No3 提出期限 9/30	情報基礎知識 1	・情報にかかわる基礎知識（情報の単位やコンピュータの5大装置など）を理解する。
No4 提出期限 10/31	情報基礎知識 2	・情報にかかわる基礎知識（ハードウェア、接続端子・インターフェースなど）を理解する。
No5 提出期限 11/30	確率と統計	・確率と統計について例題を解きながら理解する。
No6 提出期限 1/31	基礎変数	・練習問題を見ながら、〇〇進数への変換を理解する。

年間指導計画

科目名	パソコン検定初級	単位数	2単位
添削指導枚数	6枚	面接指導回数	2回
使用教科書	なし		
評価	レポート評価点及び提出日、面接指導時の取り組む様子、面接指導時提出課題を総合して判断する。		

1. 学習の目標

・IT を利活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、IT に関する基礎的な知識を身に着けるようにする。

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
No1 提出期限 5/31	ソフトウェアと OS と OSS・ファイル管理	・ソフトウェアと OS やファイル管理について理解する。
No2 提出期限 6/30	バックアップと復元	・バックアップの動作や、種類について理解する。
No3 提出期限 9/30	表計算（関数）	・表計算ソフトで利用する一般的な関数について事例を交えて理解する。
No4 提出期限 10/31	ユーザーインターフェース	・さまざまなユーザーインターフェースについて理解する。
No5 提出期限 11/30	マルチメディア	・さまざまなファイル形式やデータ圧縮について理解する。
No6 提出期限 1/31	利用者認証と生体認証	・利用者認証とさまざまな生体認証について理解する。

年間指導計画

科目名	総合的な探求の 時間Ⅰ～Ⅲ	単位数	各1単位
添削指導枚数	各1枚	面接指導回数	各1回
使用教科書	なし		
評価	面接指導時の取り組む様子、提出物の内容を総合して判断する。		

1. 学習の目標

変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成すること

2. 学習計画

添削課題	学習内容・単元	学習活動
I	我が国における選挙制度やそれに関連するルール、我が国が近年直面している投票率低下の問題や憲法改正の手続きについて理解する。	講義を聞き、重要なポイントをまとめる。その後グループ内で意見交換をし、最終的な自分の考えをまとめる。
II	地政学や周辺諸国の思惑、現行の日本国憲法から生じる問題などを通して、我が国の安全保障問題について考えていく。	
III	世界の現状や過去の歴史を通して生じている我が国における核武装の是非に関する問題と周辺国、地域の思惑を通して我が国の行末について考えていく。	

※提出期限は各スクーリングの最終日とする

年間指導計画

科目名	特別活動	単位数	
添削指導枚数	指導内容に応じて決定	面接指導回数	年間 10 時間 (目安)
使用教科書	無し		
評価	受講時の様子、受講後の提出物で判断する。		

1. 学習の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 ・自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
--

2. 学習計画

学習内容	時間	学習活動
僕らのパッションリーダーズ	1	様々な分野で活躍する社会人を講師に招き、体験談を通じて今後の生き方の指針を与える。 ※毎月実施
熊本県県警講話	1	最近の若者が巻き込まれる様々なトラブルへの注意喚起を促す。 ※年 2 回実施
絆の日活動	1	東日本大震災の起こった 3 月 11 日にちなみ、毎月 11 日に行う奉仕活動。 ※毎月実施
進路指導講話	1	進路指導部やキャリア教育関連の外部講師による進路選択やキャリア意識の向上についてのアドバイスを与える。 ※年間 10 回ほど
親孝行作文	1	本校の教育方針の 1 つ「親孝行する青少年たれ」に基づく活動。普段は当たり前になって気づきにくい保護者への感謝の気持ちに気づかせる。 ※年 1 回実施
御皇室学習	1	御皇室についての学習（御公務、御巡幸、御聖断）を通じて、日本人の心、利他心を育む。 ※年 1 回実施
学習センターごとの活動	都度設定	それぞれの学習センターにて地域の伝統文化を学んだり、町おこしやスポーツ大会などに参加したり、人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせる。 ※年間 15 回ほど